

平成30年度学校等欠席者・感染症情報システム 新規操作担当者研修会（行政機関向け）

平成30年8月30日

茨城県保健福祉部疾病対策課健康危機管理対策室
茨城県衛生研究所企画情報部（感染症情報センター）



保育所・幼稚園・学校等



成人と比べて免疫力・抵抗力が低い園児・児童・生徒が
集団生活をする場

自分で感染予防ができない場合が多い
そのため…

- ・感染症が発生しやすく、感染が広がりやすい環境
- ・平常時からの感染症対策
- ・発生時の迅速な対応・拡大防止策 が必要です。

保育所・幼稚園・学校等における感染症対策

- 集団発生を防ぐこと
 - 二次感染, 三次感染を防ぐこと
- 「早期探知」によって早く対応すること
- 初動の「連携」
 - 感染症対策の「タイミング」を逃していませんか？
 - 近隣の状況についてリアルタイムに情報収集できていますか？
- 日常的に感染症対策
 - 健康危機事象に対応するには, 平時から取り組みが大切
- 日常から対応策を準備
 - その対策の1つが「サーベイランス」

なぜ、「早期探知」「連携」は 大事なのでしょう

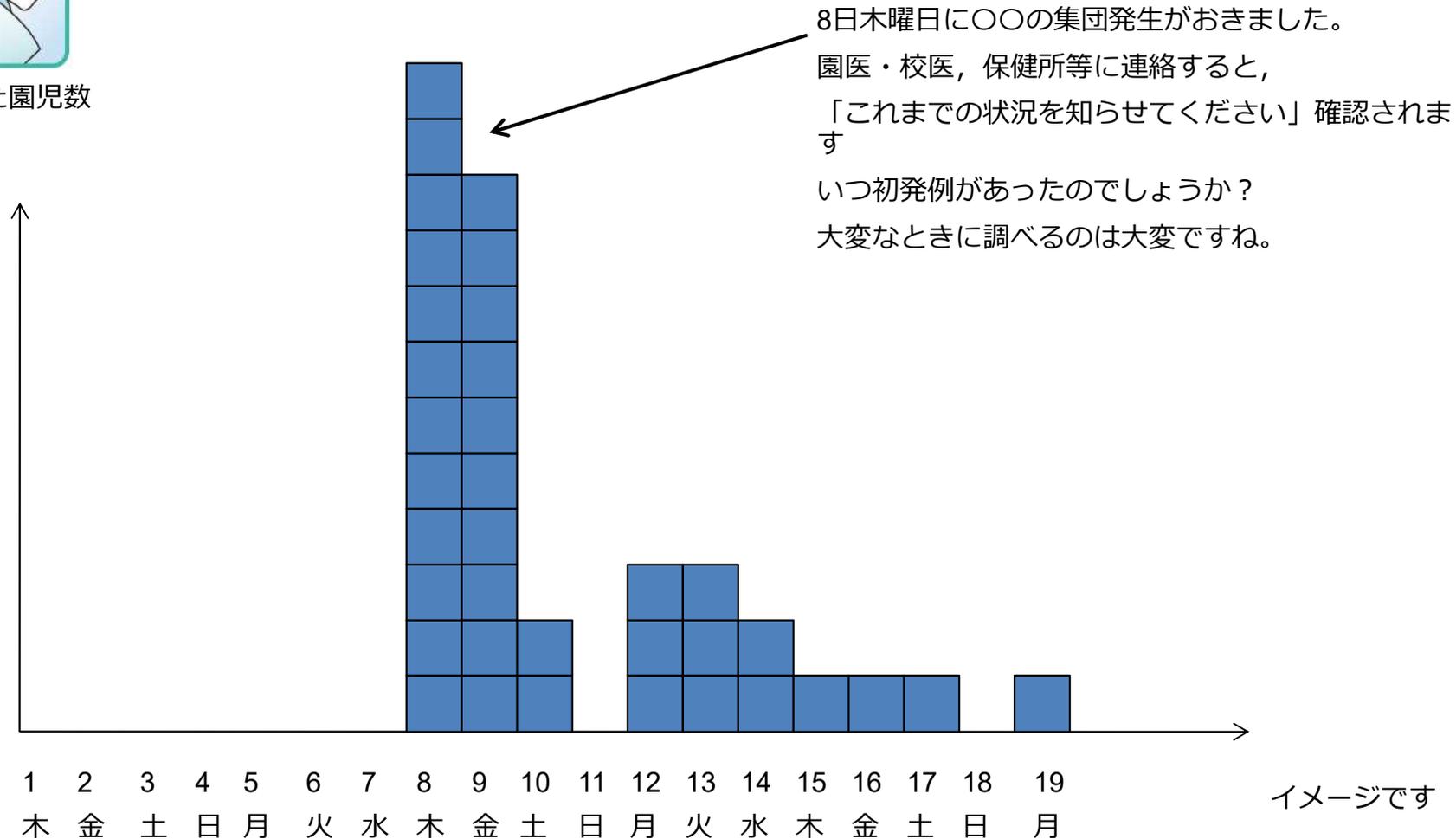
- 記録をとり、整理されていると、感染症の発生を早期に見つけることができます。
- 早期探知できると、速やかに専門家と連携をとることができます。
- 早期に対策を行うと、集団感染や二次感染などの感染拡大による被害が大きくなる前に、抑えることができます。



「早期探知」とは？



発症した園児数

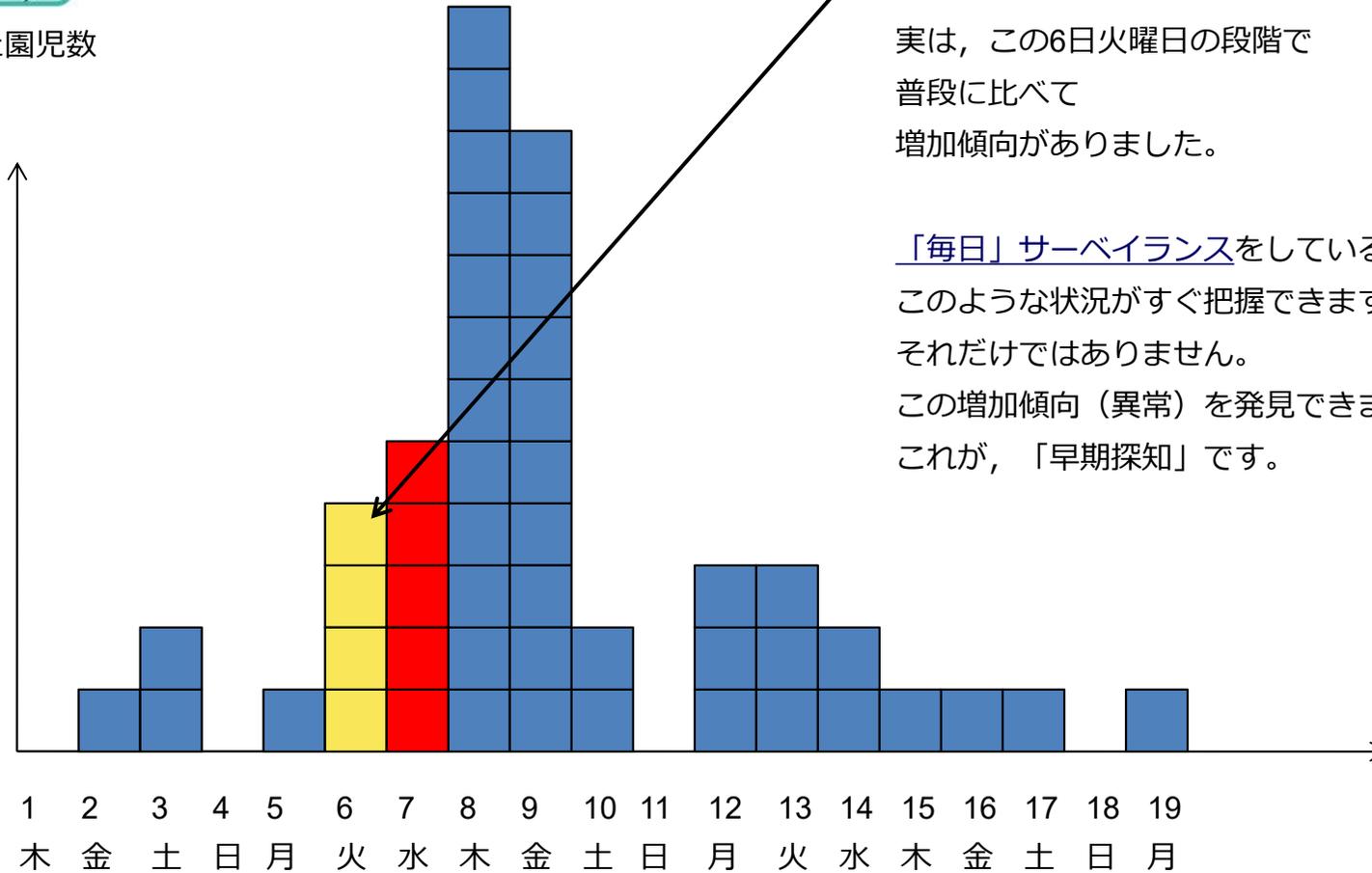


イメージです

「早期探知」



発症した園児数



調べてみると。。。

実は、この6日火曜日の段階で
普段に比べて
増加傾向がありました。

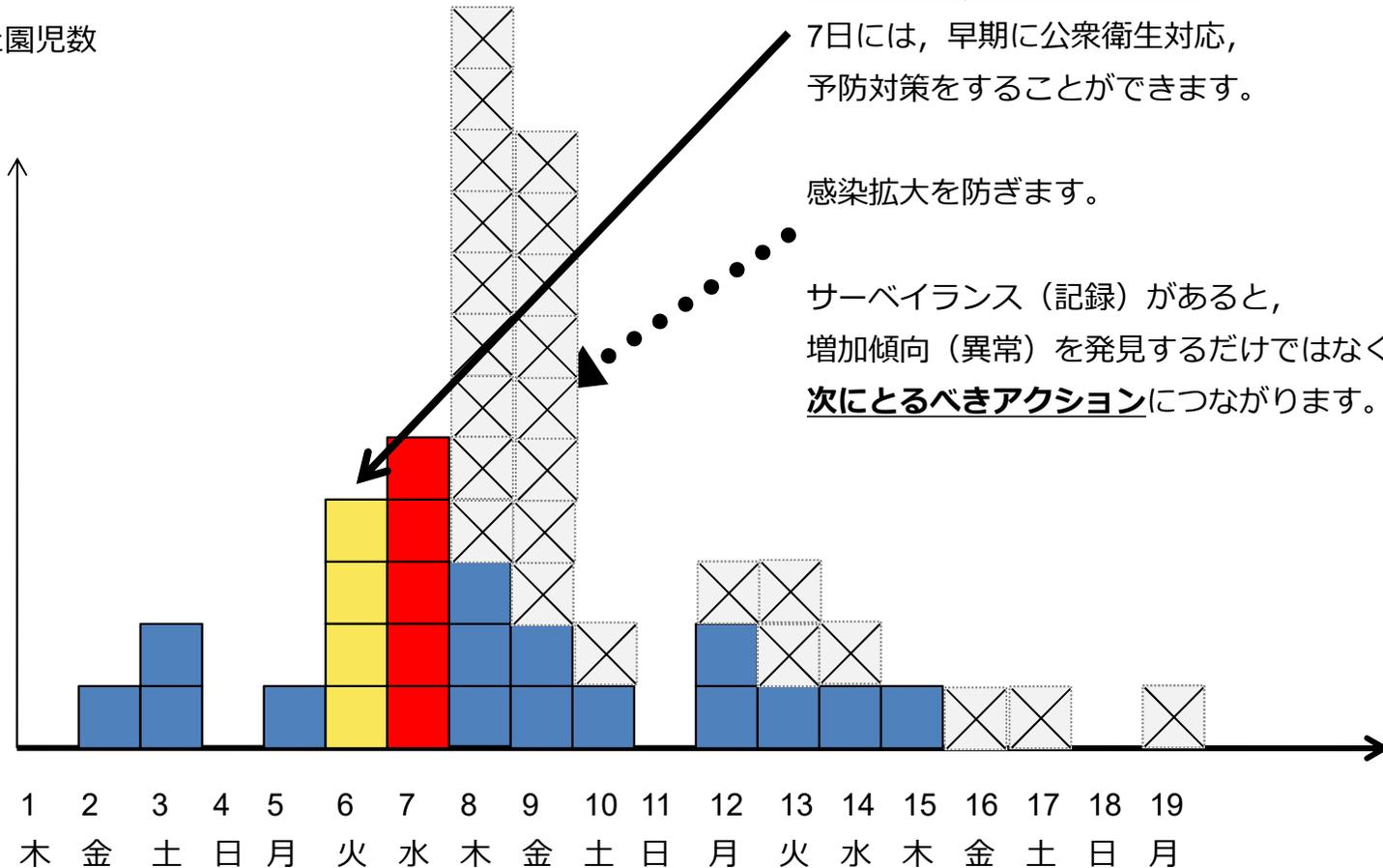
「毎日」サーベイランスをしていると、
このような状況がすぐ把握できます。
それだけではありません。
この増加傾向（異常）を発見できます。
これが、「早期探知」です。

イメージです

「早期探知」と「早期対応」



発症した園児数



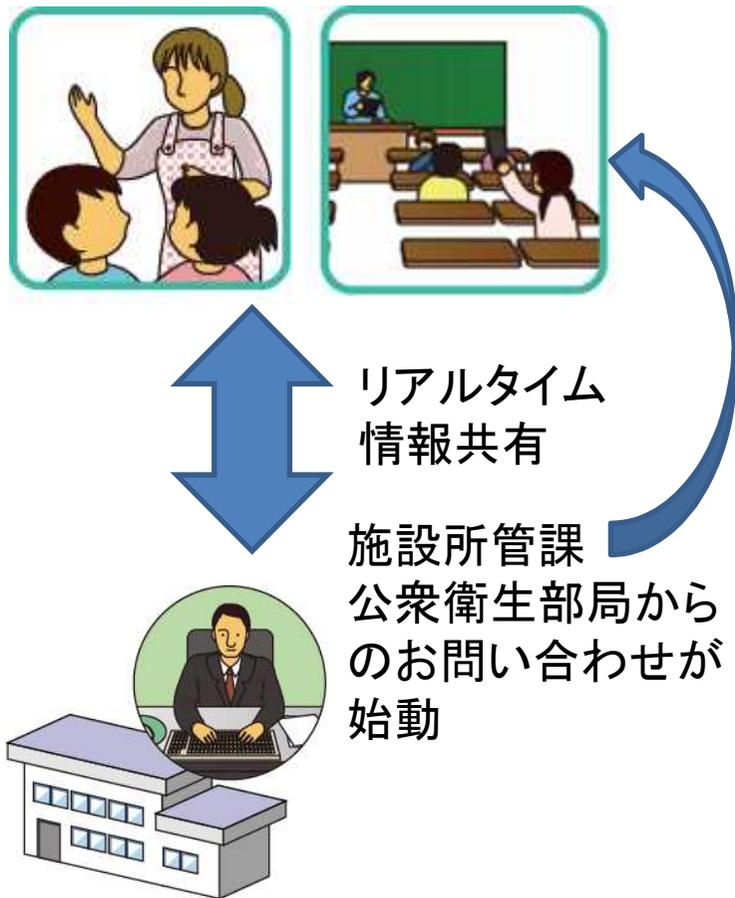
イメージです

アウトブレイクの情報収集

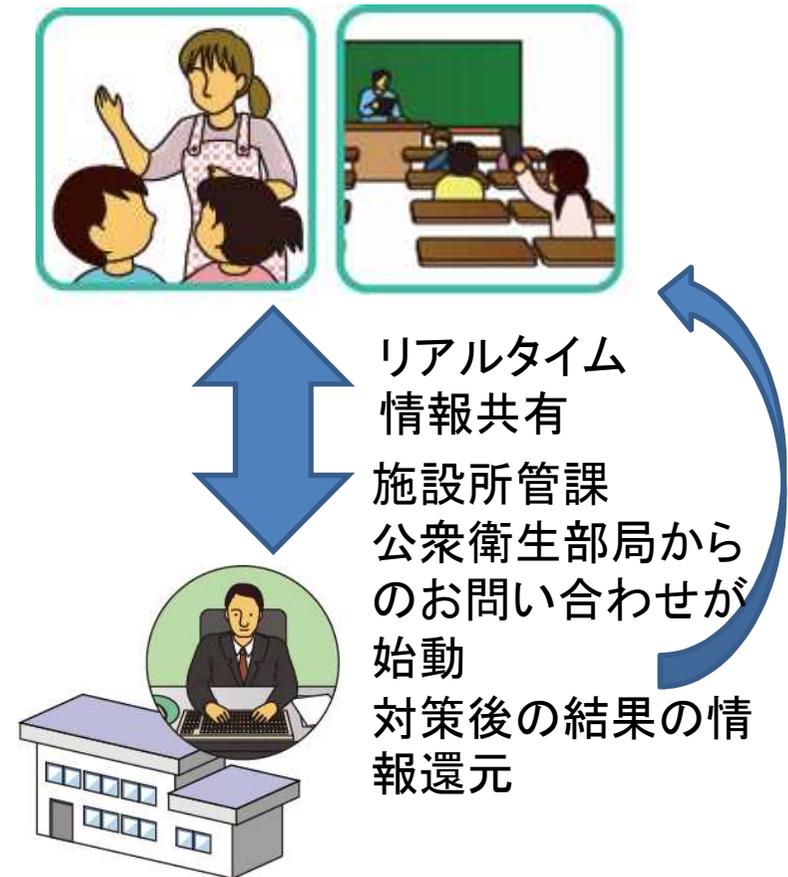
どうやって早期探知・早期対応を行うのか

A自治体

A+自治体



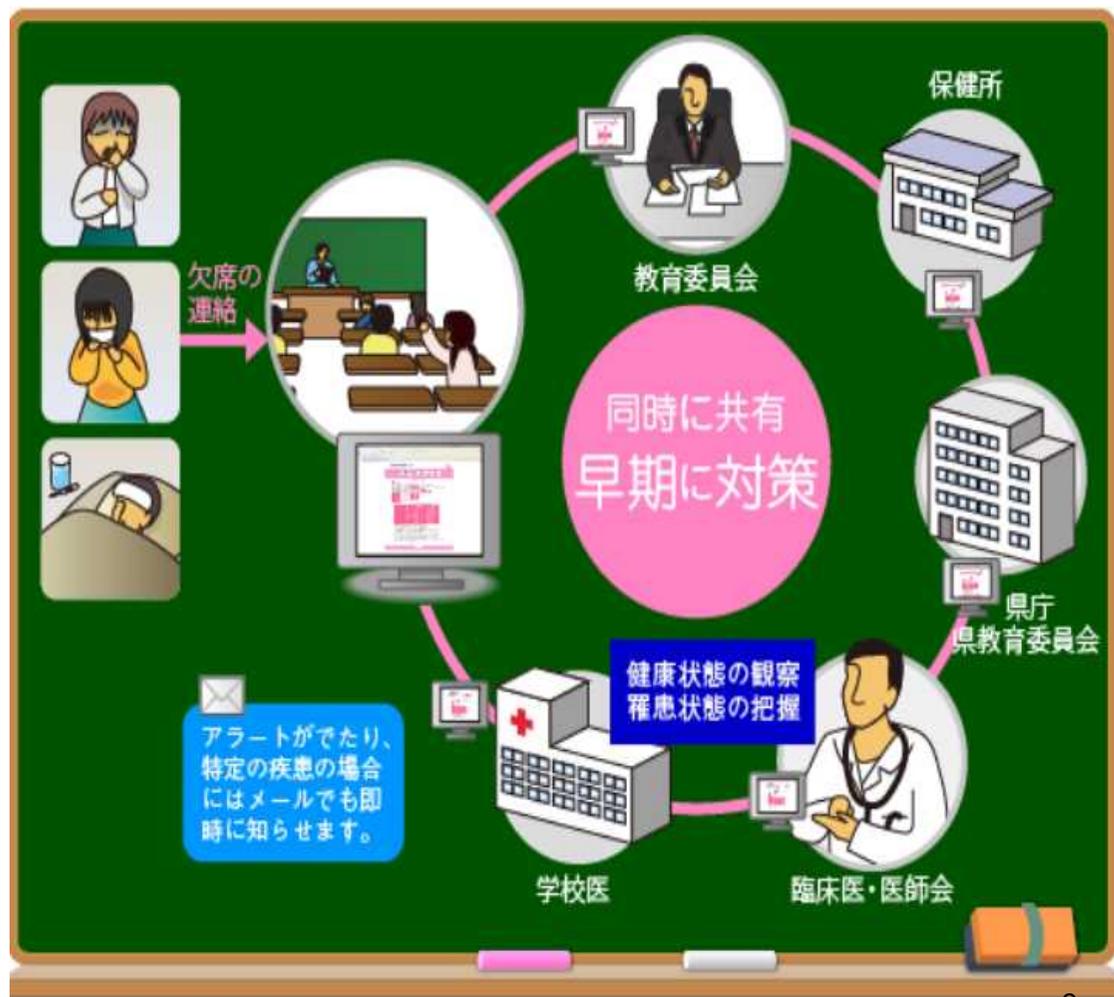
何も起こっていないこともわかる



何も起こっていないとわかったうえで、
発生がなくても、普段から予防指導、情報提供、
コミュニケーションが図られる

学校等欠席者・感染症情報システムについて

- 感染対策に必要な
 - ✓「記録」
 - ✓「連携」
 - ✓「早期探知」
- を一元化したリアルタイムサーベイランス



学校等欠席者・感染症情報システムは，国立感染症研究所が開発し，現在は日本学校保健会が運営しています。

【日本学校保健協会ポータルサイト https://www.gakkohoken.jp/system_info】

全国の導入状況

- 2008年よりシステムの運用を開始
- 2017年度のシステム利用状況（全国）

保育所 約33%

小学校 約53%

中学校 約50%

（日本学校保健会：平成30年度学校等欠席者・感染症情報システム研修会資料より）

茨城県のシステム稼働状況

(期間:平成29年6/12~6/16)

(期間:平成30年6/11~6/15)

施設区分		稼働率
未就学児	保育所	57.6%
	幼稚園	61.4%
	認定こども園	40.1%
	計	55.5%
学校	小学校	93.3%
	中学校	86.5%
	高等学校	75.2%
	中高一貫校	77.8%
	特別支援学校	91.3%
	計	88.7%
合計		71.9%

施設区分		稼働率
未就学児	保育所	59.1%
	幼稚園	70.5%
	認定こども園	41.1%
	計	58.1%
学校	小学校	93.3%
	中学校	82.4%
	高等学校	75.6%
	中高一貫校	100.0%
	特別支援学校	95.8%
	計	88.1%
合計		73.2%

システムによる感染症対策

利用するにあたって、費用はかかりません。ソフトのインストールはいりません。

**記録・連携・早期探知を
同時に！
これからの流れ**



発症の
連絡

欠席の
連絡



保育所・認定こども園, 学校等

保育担当課
教育委員会



保健所



県庁
県保育担当課

**リアルタイムに共有
→ 早期に対策**



園医・校医

臨床医・医師会



健康状態の観察
罹患状態の把握



アラートがでたり、特定の疾患の場合には
メールでも即時に知らせます。

学校等欠席者・感染症情報システムの のメリット

① 施設・学校等ごとに記録
解析資料を自動作成
集計表, グラフ, 地図の表示

② 園医・校医との連携
リアルタイムの情報共有
状況把握の説明なしに相談
ができる
(学級閉鎖, 予防の指導)
→ 早期対応で感染拡大防止へ



③ 近隣の状況把握
中学校区の地図情報で地域の
流行状況が把握できる

④ 省力化
臨時休業や出席停止等の届
をオンライン上で提出
月報の自動作成



⑤ 導入しやすい
インストールするソフトはいりません

行政担当者

- 施設との日常からの連携
 - 何も起こっていないと把握したうえで,
 - 発生がなくても、普段から予防指導, 情報提供, コミュニケーションが図られる
- アウトブレイクの情報収集 → 早期対策
- 引き継ぎ
- 精度管理
- 研修の企画

データの活用・早期探知

- ①保健所では，集団発生が疑われる施設に連絡をとり，早期探知。
- ②施設で行っている感染症対策の確認＋アドバイスを実施し，感染拡大防止を図る。
- ③システムで経過を追うこともできる。

★システムの情報を活用し，管内の感染症対策に役立てましょう！

お知らせ機能(コメント)の活用

保健所, 市町村保育担当課, 教育委員会, 保健センターからのコメントの記載をお願いします。

- 地域で流行している感染症の注意喚起
- (集団)発生事例の概要について
- 予防接種等のお知らせについて
- その他, 情報共有の場
としても活用できます。
–「ログイン後のコメント作成画面」で作成しましょう。

入力率UP

○主管課（市町村保育担当課，教育委員会等）で，管内施設のシステム**入力率100%**を目指しましょう。

例えば・・・

- 入力が数日間されていない，または入力する日がまちまちである施設に連絡をする。
- システムを活用したことがない施設への声かけ。システム活用開始のサポート。
- 正しく入力ができているかも確認しましょう。

【システムの活用】

学校等欠席者・感染症情報システムのアンケート結果より (1)



- 県内や近隣の感染症流行状況が分かり、保護者へ情報提供しやすくなった。
 - 予防対策に役立った。早めに対策をとることができた。
 - 近隣の学校と情報交換がしやすい。
 - 職員間で情報を共有し対応できるようになった。
 - 地域や県内の発生状況が分かるので、より正確な情報をお知らせできるようになった。
- * 注意喚起の際に説得力がある。

【システムの活用】

学校等欠席者・感染症情報システムのアンケート結果より (2)



- 予防の意識向上につながる。
 - 部活動の大会や練習試合等の地域の発生状況が分かり生徒や先生への注意喚起に役立っている。
 - 「保健だより」などにグラフを使った資料を載せることができた。
 - 出席停止報告書を簡単に作りやすくなった。学級閉鎖の報告がしやすくなった。
- * 教育委員会への報告が簡単になり、事務処理の効率化が図れた。

【システムの活用】

学校等欠席者・感染症情報システムのアンケート結果より (3)



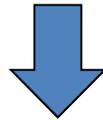
- 毎日忙しいので活用まで手がまわらない。
- インフルエンザの流行時は児童や生徒の欠席理由の確認が大変。
- システムの入力が簡単になるとよい。
→ 入力が大変という声もあります。

しかし、**地域の情報を知るためには各学校等の協力が必要**です。学校の中には、他校の情報を参考に感染対策に役立っているところもあります。

★関係機関と連携し感染拡大防止に努めましょう！

感染症対策のための 「出席停止登録の自動メール」

- システムに、麻しん・風しん・結核・腸管出血性大腸菌感染症による出席停止が登録された場合、市町村担当課、教育委員会、保健所、県庁などにメールが自動送信されています。



1例でも状況確認・対応が必要な疾患ということ
です。

システム入力するだけでなく、園医・校医、保健所と連絡を取るなどして、対応を検討しましょう。

校医の設定をして学校と校医の情報共有をしましょう

学校が校医と連携をとるために当システムでは、

- 1、学校と校医は、学校の状況をリアルタイムで共有ができます。
- 2、学校は日頃から校医からの指導を受けやすくなります。
- 3、校医は、学校で欠席者が急増した時等に、自動的にメールを受け取ることができます。
- 4、校医は、地域流行状況（中学校区）も確認することができます。



学校は、



1) はじめに、学校は校医の設定をし、校医に「3つ」の情報を渡します。



メインメニューにある「自施設情報」をクリックして、「校医パスワードの設定」をしてください。

校医用のパスワードを設定します。
※校医パスワードは、学校と同じパスワードを設定できません。

「3つ」の渡す情報

- 1 学校の URL (https://school.953862.net/[都道府県名]/[市町村]/)
例: https://school.953862.net/ibaraki/mito/
- 2 学校の ID
- 3 先ほど設定した校医パスワード

2) 次に、学校は、校医のメールアドレスを登録します。



メインメニューバーにある「自施設情報」をクリックして、「関係者メールアドレス」を登録してください。

最初の初期登録でも設定できます。
関係者メールアドレスに校医のメールアドレスをいれます。

※設定した日から、該当のときに校医にメールが届きます。

出席停止の登録
各疾患の欠席者が増加 (アラート)
臨時休業 (学級・学年・学校閉鎖)

校医は、



1) 学校から、「3つ」の情報をもってログインします。

- 1 学校の URL (https://school.953862.net/[都道府県名]/[市町村]/)
例: https://school.953862.net/ibaraki/mito/
- 2 学校の ID
- 3 学校からもらった校医パスワード



受け取り後、上記URLにて、学校のID、校医パスワードでログインしてください。全ての情報を共有することができます。

地域の感染症の流行状況を把握。



参照



地域の状況



2) メール到着があります。



どんな時?

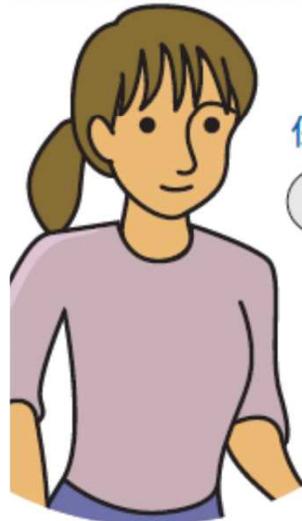
出席停止の登録
各疾患の欠席者が増加 (アラート)
臨時休業 (学級・学年・学校閉鎖)

※園医や校医の登録率は、25% (平成29年7月時点) と低い状況です。
園医や校医と施設との情報共有・連携のためにも登録を！
システムを通して、園児生徒の健康状態について、話してみましよう！

嘱託医(園医)の設定をして保育園と園医の情報共有をしましょう

保育園が園医と連携をとるために当システムでは、

- 1、保育園と園医は、保育園の状況をリアルタイムで共有ができます。
- 2、保育園は日頃から園医からの指導を受けやすくなります。
- 3、園医は、保育園で欠席者が急増した時等に、自動的にメールを受け取ることができます。
- 4、園医は、地域流行状況(中学校区)も確認することができます。



保育園は、

1) はじめに、保育園は園医の設定をし、園医に「3つ」の情報を渡します。



メインメニューにある「自施設情報」をクリックして、「園医パスワードの設定」をしてください。

園医用のパスワードを設定します。
※園医パスワードは、保育園と同じパスワードを設定できません。

「3つ」の渡す情報

- 1 保育園の URL (https://school.953862.net/[都道府県名]/[市町村]/)
例: https://school.953862.net/ibaraki/mito/
- 2 保育園の ID
- 3 先ほど設定した園医パスワード

2) 次に、保育園は、園医のメールアドレスを登録します。



メインメニューバーにある「自施設情報」をクリックして、「関係者メールアドレス」を登録してください。

最初の初期登録でも設定できます。
関係者メールアドレスに園医のメールアドレスをいれます。

※設定した日から、該当のときに園医にメールが届きます。

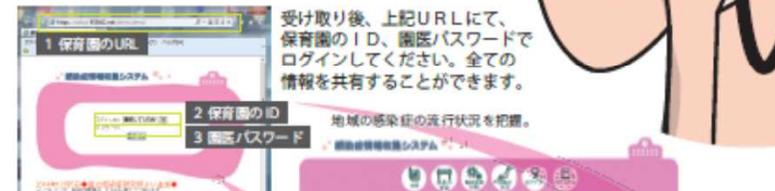
疾患の登録/各疾患の欠席者が増加(アラート)/休園・登園自粛/
「日々の状況入力」にて症状及び疾患毎に全園で10名以上が入力された時

※保育園とは: 公立・私立の設置区分や、認可・認定・認可外等にかかわらず施設の名稱に保育所・保育園を含む保育施設全般です。 ※園医とは: 保育園の嘱託医のことです。

園医は、

1) 保育園から、「3つ」の情報をもってログインします。

- 1 保育園の URL (https://school.953862.net/[都道府県名]/[市町村]/)
例: https://school.953862.net/ibaraki/mito/
- 2 保育園の ID
- 3 保育園からもらった園医パスワード



受け取り後、上記URLにて、保育園のID、園医パスワードでログインしてください。全ての情報を共有することができます。

地域の感染症の流行状況を把握。



2) メールの着信があります。

どんな時?

疾患の登録/各疾患の欠席者が増加(アラート)/休園・登園自粛/
「日々の状況入力」にて症状及び疾患毎に全園で10名以上が入力された時

※園医や校医の登録率は、25%(平成29年7月時点)と低い状況です。
園医や校医と施設との情報共有・連携のためにも登録を！
システムを通して、園児生徒の健康状態について、話してみましよう！

集団発生時の保健所等への報告基準

＜報告基準例＞厚生労働省通知（平成17年2月22日付）
社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について

- (1) 同一の感染症若しくは食中毒による又はそれらによると疑われる**死亡者又は重篤患者が1週間内に2名以上**発生した場合
- (2) 同一の感染症若しくは食中毒による又はそれらによると疑われる者が**10名以上又は全利用者の半数以上**発生した場合
- (3) (1) 及び (2) に該当しない場合であっても、通常の発生動向を上回る感染症等の発生が疑われ、特に施設長が報告を必要と認めた場合

集団発生時の保健所等への報告

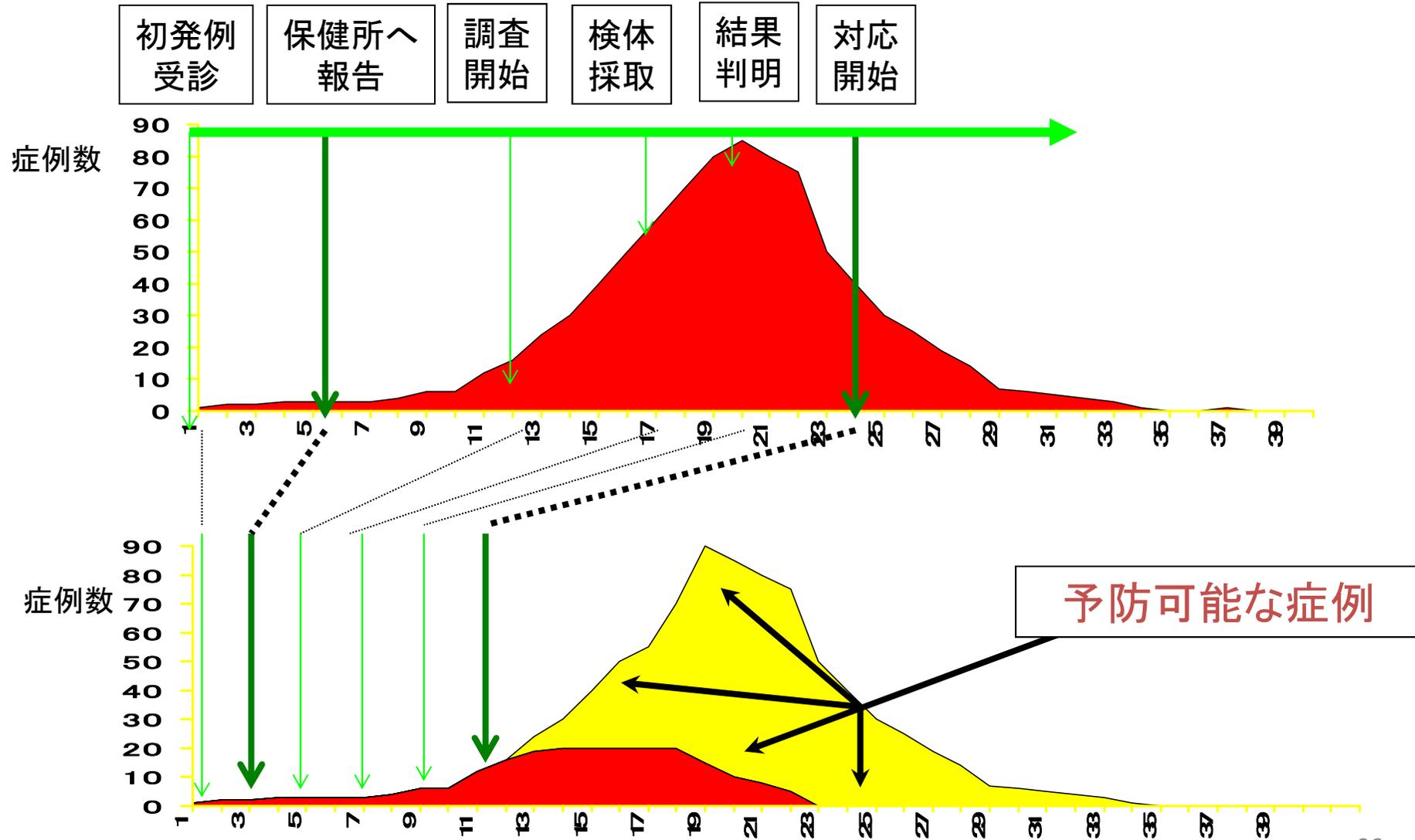
保体第1680号 平成26年3月4日付け

茨城県教育委員会教育長より

インフルエンザ様疾患等感染症発生時の適切な措置について（通知）

『入力により、教育委員会及び保健所への報告は自動的にオンラインで行われるが、**感染症の集団発生（概ね10名以上）が疑われる場合は、これまでどおり速やかに教育委員会等に報告すること。（インフルエンザ様疾患を除く）**』

集団発生への対応と症例の発生



感染症発生時の主な対応

- 職員も含め、他に同様の有症状者がいないか確認する。
- 有症状者は、受診へ繋げるなど早期に対応する。
(他の園児・児童・生徒と接触させないようにしましょう。)
- 改めて園児・児童・生徒・職員の標準予防策を徹底する。
(手洗い、マスク、換気など)
- 園医・校医，市町村担当課・教育委員会，保健所等への
連絡・相談
- 園児・児童・生徒・保護者・職員への注意喚起
(家庭での注意点も伝えましょう。)
- 集団で行う行事等の延期・登園自粛措置等の検討
- 疾患別の対応

組織体制・健康管理



- 感染症発生時の報告・連絡先を盛り込んだ独自の感染症対策マニュアルの作成。
- どの職員でも嘔吐物処理等の対応ができるよう研修や周知を行っておく。(吐物処理セットの用意)
- 感染症対策について話し合う機会を設ける。
(感染症の流行期前, 施設内で感染症が流行し始めた時, 定期的に)
- 最新の感染症情報を収集し, 保護者や職員へも注意喚起する。

- 予防接種状況の把握も含め、園児・児童・生徒・職員の健康管理方法を再確認する。
- 症状のある職員の治療や休養の体制や、風しん麻しん等の予防接種歴の確認、健康診断の結果の把握等の体制を再確認する。

例えば・・・

- × 職員が海外旅行へ行き、感染症にかかり、症状があったが、無理して休まず、出勤してしまった。
- × 健康診断(胸部レントゲン検査)の結果、要精密であったが、精密検査を受けずに放置。「結核」を発症しており、菌を排出していた。

その結果・・・「園児・児童・生徒へ感染させてしまった」ということがないように注意しましょう！

「学校等欠席者・感染症情報収集システム」の引き継ぎをしましょう。
～ 教育委員会及び福祉関係課保育所担当者, 保健関係課感染症担当者向け ～

異動, 退職に伴って引き継ぎをされる自治体担当者は, 下記の項目を参考になさってください。
引き継ぎは来年度の活動に影響します。ID, パスワードの引き継ぎだけではなく, これまでの自治体としての活動や課題も含めて引き継ぎをしましょう。

【引き継ぐ方のメモ】

- URL() ID() パスワード()
- 本システムの意義について (システムのメリット等について)
- 入力方法, 入力切時間の確認, 操作資料等
- システムを活用して作成した行政資料提示, 学校・保育園向けに作成した資料等の提示
- 研修会の資料
- コメント作成の方法について (これまで作成したコメント提示)
- 4疾患メール, 集団発生時メール(保育所のみ)について
- 本年度の管内の稼働状況について (稼働が不十分な施設に積極的な参加をしていただくよう働きかけを依頼)
- 本年度の精度管理について (数値入力間違い, 疾患名間違い等の確認と修正について)
- 来年度の研修について
- 「よくある質問とその回答」について (どのように回答したのか提示, ホームページ参照)
- 施設主管課は, 来年度準備について (廃校・廃園, 新規校の登録について)
- 施設主管課は, 管轄の学校・保育園のIDとパスワード一覧 (施設検索で参照する)
- 感染症課は, システム上集団発生が疑われる施設を探知したあとの動き, 4疾患メールがあった場合の施設への状況確認が必要な疾患について
- 本システムで連携している部署・機関及び担当者について

【引き継がれる方のメモ】

- 「自施設情報」で担当者名, メールアドレス, パスワードを変更
- 住所, 電話番号, に変更があれば「自施設情報」で変更
- 毎日忘れずにログインをする
- 施設主管課は, 4月1日に学校・保育園「クラス定義」をするように呼びかけ, 担当者の変更の案内等をコメント作成する
- 感染症課は, 感染症流行状況から予防する疾患について, 公衆衛生介入の結果等をコメント作成する



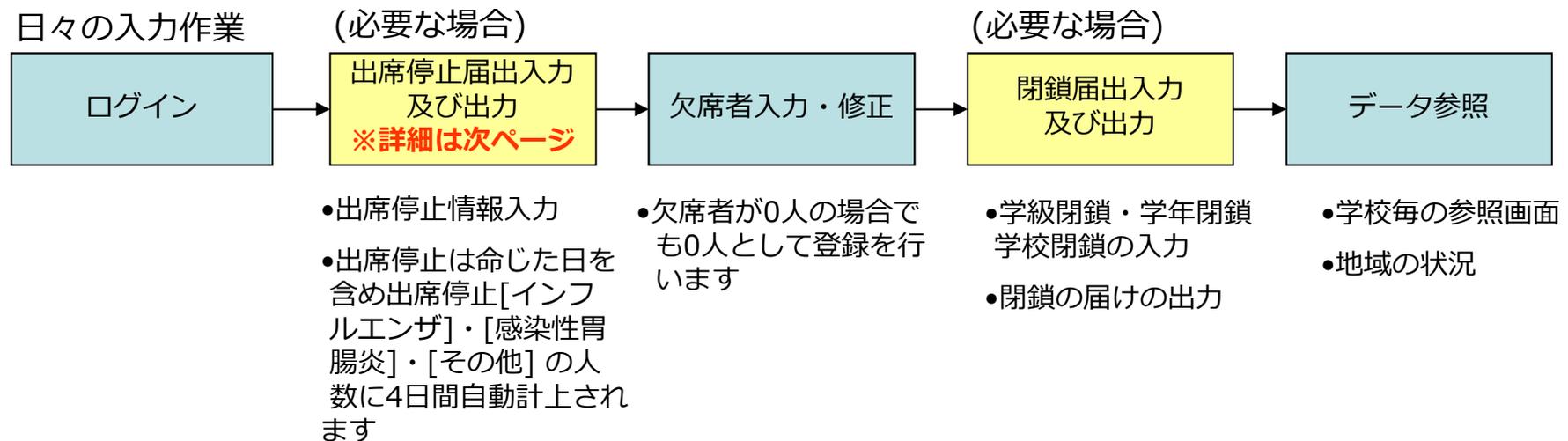
学校等欠席者・感染症情報システム 実習編(学校)

1. システム利用の流れ（学校）

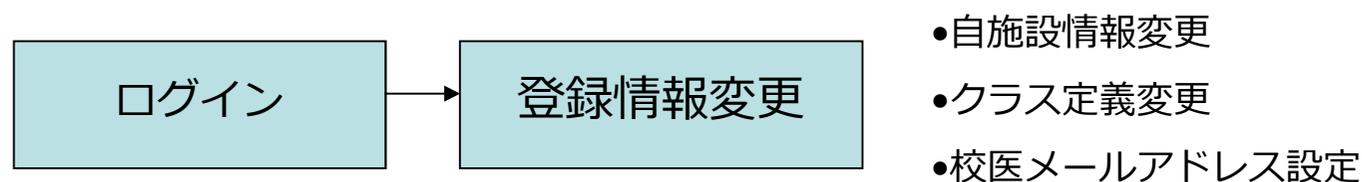
1. 初期登録時



2. 欠席者入力（概略）

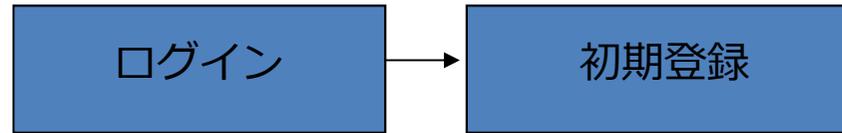


3. 登録情報変更



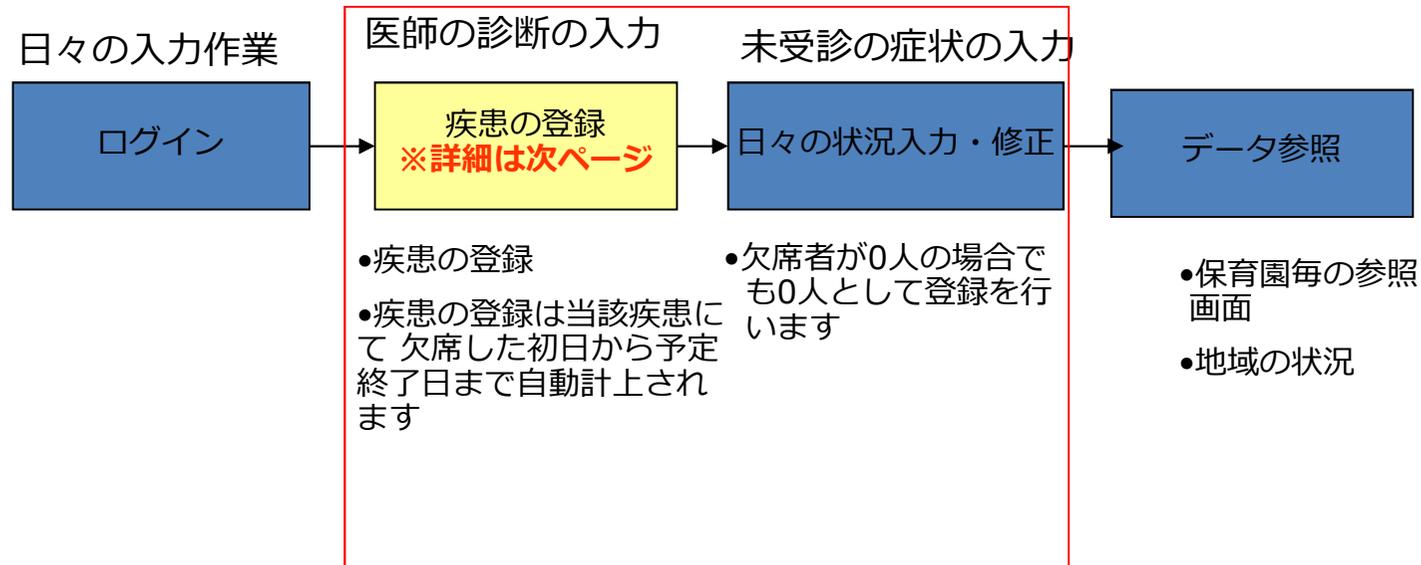
1. システム利用の流れ（保育園）

1. 初期登録時

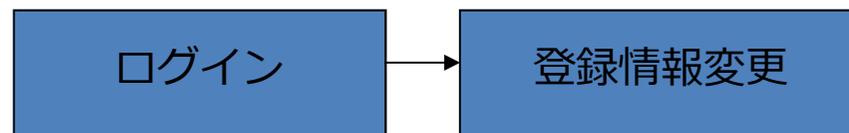


- 自施設情報
- クラス定義

2. 日々の状況入力（概略）



3. 登録情報変更



- 自施設情報変更
- クラス定義変更

1. システム利用の流れ（認定こども園）

1. 初期登録時



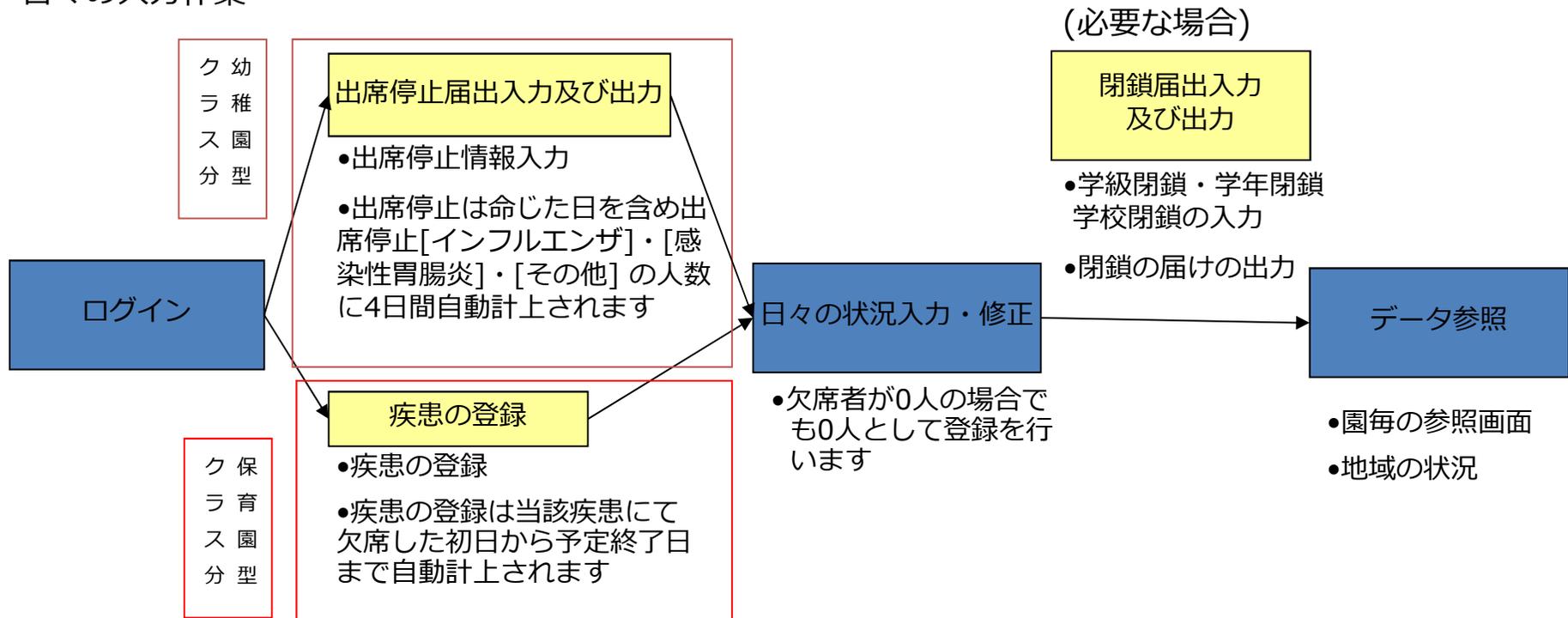
- 自施設情報
- クラス定義

2. 日々の状況入力（概略）

日々の入力作業

医師の診断の入力

未受診の症状の入力



3. 登録情報変更



- 自施設情報変更
- クラス定義変更
- 園医メールアドレスの設定

2-1. システムのログイン方法及び研修用URL

本番用

本番用を練習に使ってはいけません！！

- (県立) <https://school.953862.net/ibaraki/kenritsu/>
- (市町村立) <https://school.953862.net/ibaraki/市区町村名/>
- (私立) <https://school.953862.net/ibaraki/shigaku/>
- ログインID/パスワード：施設ごとに配布

本日の研修用

研修用は 月 日まで使えます。練習しましょう

<https://school.953862.net/kensyu/kensyu?/>

デモ版 (学校保健会)

?は当日お伝えした数字を入れます

- <https://school.953862.net/demo/demo/>
- 【学校】 ログインID：yamada / パスワード：yamada
- 【保育園】 ログインID：11223 / パスワード：11223
- 【認定こども園】 ログインID：10001 / パスワード：10001

2-2. ログインする際の注意点

- URLの入力場所



- URL入力後は「Enter」を押します



3-1. トップページ (ログイン画面)

学校等欠席者・感染症情報システム

ログインID: 13097
パスワード:

ログイン

13004
13001
13002
13003
13004
13005
13006

他校のIDと間違えないようご注意ください

①一覧より、自施設のログインIDをクリックします

②初期パスワードを入力します

③[ログイン]をクリックします

3-2. 利用許諾申請

初回ログインした時に、
利用許諾申請の案内が表示されます。



利用者の皆様へ

校長 久保 啓

校長 久保 啓 感染症情報システムの利用許諾申請のお願い

公益財団法人 日本学術振興会

このたびは、日本学術振興会は、本システムの運用環境を改訂するとともに、改めて利用許諾書の申請をお願いするようになりました。つきましては、下記から申請書ダウンロード、確認の上で、下記の「使用規程に同意して利用許諾を申請する」をクリックしてください。申請は必ず各施設の責任者の同意の上で行ってください。申請しなかった場合は本システムは利用できません。移行後は通常の入り画面に移り、次回から申請は不要です。今後とも、本システムの運営にご協力いただき感謝申し上げます。

学校長 久保 啓 感染症情報システム利用許諾申請はこちらから

システムをご利用いただく前に、
利用許諾申請を行ってください。



公益財団法人 日本学術振興会

校長 久保 啓 感染症情報システム 使用規程

25 目的

1 この規程は、公益財団法人 日本学術振興会（以下「本会」といふ。）が保有している感染症発生・蔓延情報システム（以下「システム」といふ。）の利用に際して、本システムの運用を円滑に行うことと、本学等が定めることとする。

26 範囲

1 本規程は、システムの利用に際しての運用に関する事項を定めることとする。

運用者
システム管理者（システム管理者） 感染症情報センター
... 施設管理者
システム管理者（学内） 施設管理者（学外） 感染症情報センター
2 本規程は、本会が定める、システムの利用に際しての運用に関する事項を定めることとする。

27 適用

1 本規程は、システムに接続する利用者の利用に際して、本会が定める、システムの利用に際しての運用に関する事項を定めることとする。

28 運用

4 本規程は、システムに接続する利用者の利用に際して、本会が定める、システムの利用に際しての運用に関する事項を定めることとする。

29 運用

5 本規程は、システムに接続する利用者の利用に際して、本会が定める、システムの利用に際しての運用に関する事項を定めることとする。

30 運用

6 本規程は、システムに接続する利用者の利用に際して、本会が定める、システムの利用に際しての運用に関する事項を定めることとする。

《損害賠償額の制限》

25. 本システムの利用に際して本会が損害賠償責任を負う場合、使用者が本会に本システムの使用制限に違反して発生した損害額の全部を賠償額として賠償責任を負うものとする。

《完全なる金替》

26. 本規程は、直前の口頭もしくは書面による交渉、約束、了解にかかわらず、本会と使用者の完全なる金替を構成するものとする。

《禁絶酒と禁煙管理》

27. 本規程の執行可能性、解釈及び有効性を確保するため、本会と使用者は、本規程に違反する行為を禁止することに同意する。

《附 則》

この規程は 平成26年 1月 1日から施行する。

平成28年 11月	一部改訂
平成29年 1月	懲罰法等を追加
平成29年 3月	免責事項を追加
平成29年 4月	一部改訂

使用規程に同意して利用許諾を申請する

使用規定をよくご確認いただき
問題なければ「使用規定に同意して
利用許諾を申請する」ボタンを押してください。

4-1. 自施設情報の登録画面

初期登録

ログインID: 13097

中学校区: **研修中学校1** ※保育園・こども園の場合は、中学校区が設定されている場合（プルダウンが出てくる場合）には最寄りの中学校を選択してください

区分: **小学校**

施設名称: **研修小学校97**

校長名: **研修校長名**

登録担当者: **研修担当者名**

住所: **XX県XX市XX町2-1**

連絡先電話番号: **123-456-7890**

連絡先FAX番号: **123-456-7891**

連絡先メールアドレス: **test@test.jp**

現在のパスワード: **新しいパスワードを設定してください。**

新しいパスワード: **test123** *初期パスワードは使用できません
*半角英数字のみ

新しいパスワードの確認入力: **test123** *上記と同じパスワードをもう一度入力して下さい

オプション項目（必須ではありません）

校医パスワードの設定: 校医パスワードでログインすると入力できませんが、自施設および地域状況の参照ができます
ログイン画面URL（<https://school-953962.net/kensyu/kensyu12/>）とログインID、校医パスワードをお伝え下さい
 *入力担当者と同じパスワードは使用できません
*半角英数字のみ

校医パスワード再入力: *上記と同じパスワードをもう一度入力して下さい

関係者メールアドレスへの通知メール送信条件は以下のとおりです。
 ・欠席者の急増発生時 ・閉鎖発生時 ・出席停止登録時

関係者メールアドレス1:

関係者メールアドレス2:

関係者メールアドレス3:

関係者メールアドレス4:

関係者メールアドレス5:

ログイン時の画面: 表示する 表示しない
※表示しないを選択した場合、欠席者入力画面が表示されます

確認

①中学校区を選択します
 ※県立、私学、国立、（保育園）では表示されません
 ※県立、私学、国立では「所在地」選択を行います

②ご利用になる施設区分と施設名称に誤りが無いか確認します
 ※他校でのログインにご注意ください

③自施設の情報を入力します

④パスワードを半角英数で入力します
 ※初期パスワードは使用できません

学校から学校医にアカウントを連絡する
 学校のURL・学校のログインID・校医パスワード

⑤必要な場合は、校医パスワードを設定してください（必須ではありません）
 ※初期パスワード及び担当者パスワードと同じものは使用できません
 ※連絡先メールアドレスに指定したメールアドレスには、各症状にて欠席者が急増した場合、出席停止者、学級閉鎖及び学校閉鎖入力時に通知メールが送信されます

⑥[確認]をクリックします

4 - 1 - 1. 自施設情報の登録（研修用）

登録内容（研修用）

校長名：研修太郎

登録担当者：研修花子

住所：茨城県研修市研修1-1

連絡先電話番号：029-111-1111

連絡FAX番号：029-222-2222

連絡先メールアドレス：kensyu@kensyu.ne.jp

パスワード：54321

4-2. 自施設情報の登録・確認画面

■初期登録

※以下の内容でよろしければ、下部の登録ボタンを押して下さい。
登録ボタンを押さないと反映されません。

中学校区	研修中学校1
施設名称	研修小学校97
校長名	研修校長名
登録担当者	研修担当者名
住所	XX県XX市XX町2-1
連絡先電話番号	123-456-7890
連絡先FAX番号	123-456-7890
連絡先メールアドレス	test@test.jp
パスワード	test123
オプション項目	
校医パスワード	
関係者メールアドレス1	
関係者メールアドレス2	
関係者メールアドレス3	
関係者メールアドレス4	
関係者メールアドレス5	
ログイン時の画面	ログイン直後に新規の出席停止の登録画面を表示する

ここで設定したパスワードをすぐに利用しますので、忘れないようにしてください

引続きクラス定義を行う為、ログイン画面が表示されますので、今回設定したパスワードを利用して再度ログインしてください

登録が完了しました

[メイン画面へ](#)

内容を確認し[登録]をクリックします

登録

修正

内容を修正する場合は、[修正]をクリックします
※戻るボタンは使用しないでください

5 - 1. クラス定義設定画面

●クラス定義

※複式学級等で表示しない学年がある場合は学年の下の「表示」のチェックを外してください。

学年	クラス名称/人数	学年	クラス名称/人数	学年	クラス名称/人数
1年 <input checked="" type="checkbox"/> 表示	組/人	2年 <input checked="" type="checkbox"/> 表示	組/人	3年 <input checked="" type="checkbox"/> 表示	組/人
	組/人		組/人		組/人
	組/人		組/人		組/人
	組/人		組/人		組/人
	組/人		組/人		組/人
	組/人		組/人		組/人
	組/人		組/人		組/人
	組/人		組/人		組/人
	組/人		組/人		組/人
	組/人		組/人		組/人
4年 <input checked="" type="checkbox"/> 表示	組/人	5年 <input checked="" type="checkbox"/> 表示	組/人	6年 <input checked="" type="checkbox"/> 表示	組/人
	組/人		組/人		組/人
特別支援学級 <input checked="" type="checkbox"/> 表示	組/人	教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 表示	組/人	特別支援学級 <input type="checkbox"/> 表示	組/人
	組/人		組/人		組/人
	組/人		組/人		組/人
	組/人		組/人		組/人
	組/人		組/人		組/人
	組/人		組/人		組/人
	組/人		組/人		組/人
	組/人		組/人		組/人
	組/人		組/人		組/人
	組/人		組/人		組/人

確認

①クラス名と児童（生徒）数を入力します
※クラス名は英数字、ひらがな・カタカナ漢字が利用できます

②教職員は人数のみ入力します（必須）

使用しない学年がある場合はチェックを外してください

③[確認]をクリックします

5 - 1 - 1. クラス定義設定 (演習用)

登録内容 (研修用)

学 年 : クラス名称 在籍者数

1 年 : 1組 30人

1 年 : 2組 30人

2 年 : 1組 30人

教職員 : 25人

※研修ではその他のクラスについては省略します。

5 - 2. クラス定義設定確認画面

●クラス定義 確認画面

※以下の内容でよろしければ、下部の登録ボタンを押して下さい。
登録ボタンを押さないと反映されません。

今回適用日:2017年4月1日

学年	クラス名称/在籍者数	学年	クラス名称/在籍者数	学年	クラス名称/在籍者数
1年 表示	1組 / 30人	2年 表示	1組 / 30人	3年 表示	1組 / 30人
	2組 / 30人		2組 / 30人		2組 / 30人
	3組 / 30人		3組 / 30人		3組 / 30人
	4組 / 30人		4組 / 30人		4組 / 30人
	組 / 人		組 / 人		組 / 人
	組 / 人		組 / 人		組 / 人
	組 / 人		組 / 人		組 / 人
	組 / 人		組 / 人		組 / 人
特別支援学級 非表示	組 / 人	教職員 表示	50人		
	組 / 人				
	組 / 人				
	組 / 人				
	組 / 人				
	組 / 人				

①入力した内容に誤りがないか確認します

使用しない為、チェックを外すと「非表示」になります

②内容を確認し[登録]をクリックします

③内容を修正する場合は、[修正]をクリックします
※戻るボタンは使用しないでください

登録

修正

5 - 3. 複式学級（複数学年が同一クラスの場合）

●クラス定義

※複式学級等で表示しない学年がある場合は学年の下の「表示」のチェックを外してください。

学年	クラス名称／在籍者数	学年	クラス名称／在籍者数	学年	クラス名称／在籍者数
1年 <input checked="" type="checkbox"/> 表示	1 組／20 人	2年 <input type="checkbox"/> 表示	組／ 人	3年 <input checked="" type="checkbox"/> 表示	1 組／20 人
	組／ 人		組／ 人		組／ 人
	組／ 人		組／ 人		組／ 人

使用しない学年のチェックを外す

複式学級の場合は、どちらかの学年を使用します。使用しない学年の『表示』のチェックボックスのチェックをクリックし、チェックを外します。（例：1, 2年生の複式学級の場合、2年の下のチェックボックスの『レ』をクリックします。

6-1. メインメニュー（ログイン後画面）

初期登録を完了すると、次回ログイン時よりこの画面が表示されます

● 学校等出席者・感染症情報システム ●



施設名：研修小学校97

■お知らせ

▼2017/8/8 研修市12教育委員会
県や市区町村からのお知らせが表示されます

未登録の出席停止の登録がある場合は左のボタン(出席停止入力)から、新規の出席停止を登録してください
ない場合には右のボタン(欠席者入力)を押してください

- ※既に登録済みの出席停止分の日々の微調整については、欠席者入力画面より行ってください
- ※出席停止入力画面にて入力する新規の出席停止は、出席停止指示日分のみ入力してください
- ※出席停止の登録は、医師による診断に基づいて入力してください

出席停止入力画面へ

欠席者入力画面へ

現時点では出席停止の登録を行わないため欠席者入力のボタンをクリックします

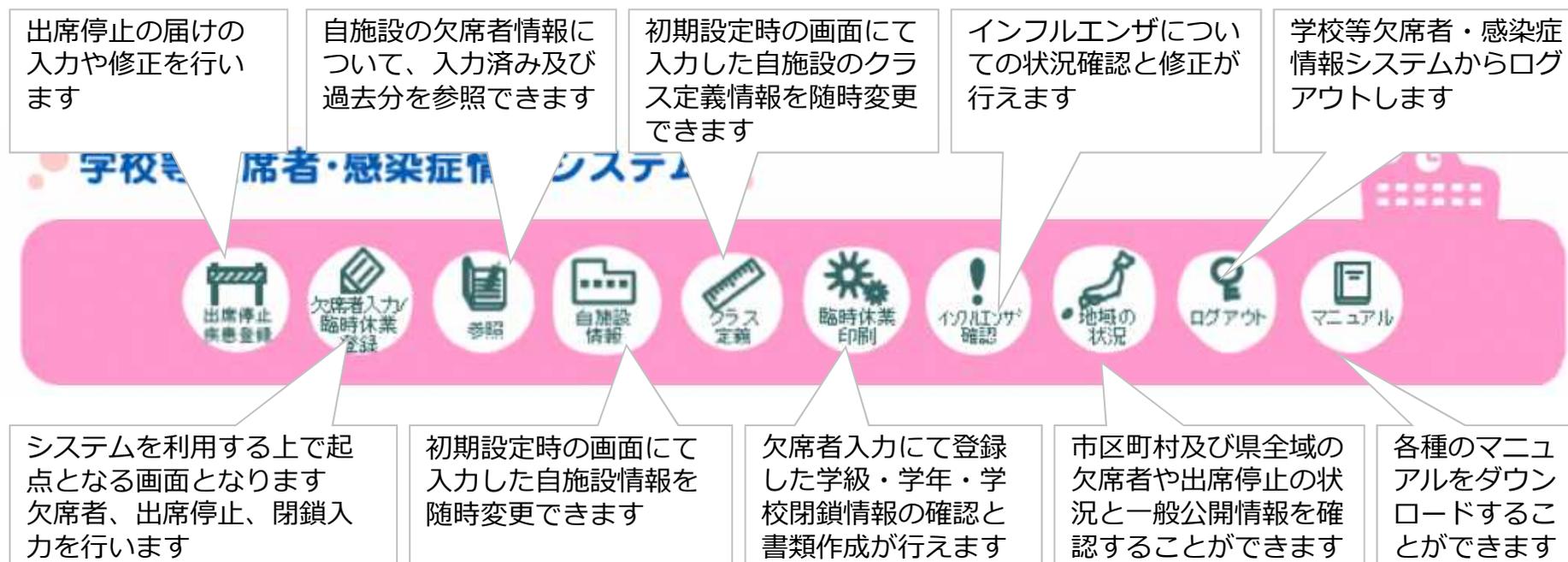
今後この画面を表示しないようにするには右のボタンを押してください→ 表示しない

※再度表示する場合は「自施設情報」画面より設定変更が行えます

「表示しない」をクリックすると、次回ログイン時よりこの画面を表示しないように設定できます

ページTOPへ

6-2. メインメニュー



- ・ **操作中はブラウザの「戻る」ボタンは使わないでください。**
- ・ 画面を移動するときには、必ず画面上部のメインメニューまたは各画面の「**修正**」ボタンをクリックしてください。

6-3. メインメニュー（欠席者入力画面）

欠席者入力画面のボタンをクリックするとこの画面が表示されます
先程の画面で「表示しない」に設定するとログイン時にこの画面が表示されます

● 学校等欠席者・感染症情報システム ●

施設名：研修小学校97

県や市区町村からのお知らせがある場合、ここに表示されます

▼2017/8/8 研修市12教育委員会
県や市区町村からのお知らせが表示されます

● 欠席者入力

※日付変更を行った場合はこのボタンを押して下さい↓
<< 前日 日付: 2017年 8月 8日 再表示 翌日 >>

出席停止の登録(命じた日のみ)はこちら [出席停止の届け](#)

学校閉鎖の場合はこちらをクリックしてください 学校閉鎖: [学校閉鎖](#)

入力	<input type="radio"/> 1年(未入力)	学年閉鎖
入力	<input type="radio"/> 2年(未入力)	学年閉鎖
入力	<input type="radio"/> 3年(未入力)	学年閉鎖
入力	<input type="radio"/> 4年(未入力)	学年閉鎖
入力	<input type="radio"/> 5年(未入力)	学年閉鎖
入力	<input type="radio"/> 6年(未入力)	学年閉鎖
入力	<input type="radio"/> 教職員(未入力)	

事故欠・忌引等入力

[マニュアル・利用者ページ](#)
[一括簡易入力・修正はこちら](#)
※一括簡易入力画面では、出席停止の入力はできません。

事故欠・忌引等は欠席者に含めず、こちらに入力します

7-1-1. 欠席者情報入力及び出席停止入力（演習）

シナリオ1. 本日の朝、1年1組の4名の保護者から下記の欠席連絡がありました。

熱 : 1名

下痢と嘔吐 : 1名

インフルエンザ（今日から） : 2名

7-1-2. 出席停止届け入力画面 (演習解説)

演習問題の出席停止入力手順 1年1組2名 (インフルエンザ)

● 学校等欠席者・感染症情報システム

① 出席停止ボタンをクリック

② 本日であることを確認

③ 出席停止理由の「インフル」を選択

④ 1年1組の2名を入力

⑤ 確認ボタンをクリック

※ 入力内容の理由を変更する場合は、削除した後、再度作成して下さい。
 ※ 教職員分を入力する場合は「疾患による出席停止・欠席・登校の別」項目で「出席停止」としては入力できませんので、「欠席または登校」を選択して下さい。

◆ 疾患による「出席停止・欠席・登校」の初日(出席停止時は指示日)のみに入力を行って下さい。
 ◆ 疾患毎、「出席停止・欠席・登校の別」毎に入力を行なって下さい。

疾患による出席停止・欠席・登校の別
 出席停止
 欠席・欠勤(診断されているが出席停止にならない場合) ※ 教職員欠勤)
 登校(診断されているが登校しない場合)

理由:

出席を停止させた理由および期間
 (疾患による欠席・登校の理由)
 理由: (自由記入)
 期間: (自由記入)

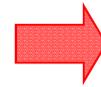
予定終了年月日
 2017年 8月 11日

疾患により登録する児童(生徒)の学年別人数
 1年 1組 2名

学校医の意見 (自由記入)
 今後の措置 (自由記入)
 その他 (自由記入)

本日の出席停止の人数調整は「欠席者入力画面」で行って下さい

確認



● 出席停止報告確認画面

2010年 07月 30日

⑥ 登録内容に間違いがないか確認

疾患による出席停止・欠席・登校の別	出席停止
出席を停止させた理由および期間 (疾患による欠席・登校の理由)	理由: インフルエンザ 期間:
予定終了年月日	2017年 8月 11日
疾患により登録する児童(生徒)の学年別人数	1年 1組 2名
学校医の意見	今後の措置
その他	その他

※ 登録ボタンを押さないとデータが登録されません。必ず登録ボタンを押して下さい。

登録

修正

⑦ 登録ボタンをクリック

● 学校等欠席者・感染症情報システム

⑧ 登録完了画面が表示される

● 出席停止報告入力画面 出席停止の状況

本日の出席停止の人数調整は「欠席者入力画面」で行って下さい

出席停止を指示した年月日 示した年月日
 2010年 7月 30日 2017年 8月 11日

新規 新規/作成済みの修正 削除インフルエンザ

◆ 出席停止・欠席・登校情報を登録しました▼

PDF作成

校の別	出席停止
出席を停止させた理由および期間(疾患による欠席・登校の理由)	理由: インフルエンザ 期間:
予定終了年月日	
疾患により登録する児童(生徒)の学年別人数	1年 1組 2名
学校医の意見	
今後の措置	
その他	

引き続き入力する場合: 新規作成

間違いに変更・削除

このボタンは出席停止の期間の終了を意味するものではありません。
 現在登録されている出席停止の記録そのものを削除します。
 出席停止を誤って登録されたりした場合にはお問い合わせ下さい。

7-1-3. 出席停止届け報告様式例（参考画面）

様式第 号	第 号
	平成 29 年 8 月 8 日
研修市 1 2 教育委員会 様	研修小学校97長 研修校長名 印

感 染 症 等 報 告 書

下記の通り感染症予防のための出席停止の措置をとりましたので報告します。

記

1. 出席を停止させた理由及び期間
インフルエンザ
2. 出席停止を指示した年月日 平成 29 年 8 月 8 日
3. 出席を停止させた児童（生徒）の学年別人数
1年 2 名
4. 学校医の意見
5. 今後の措置
6. その他

7-2-1. 欠席者情報入力及び出席停止入力の修正（演習）

シナリオ2. その後昼に、朝連絡があった熱での欠席者が
インフルエンザと診断された旨、連絡を受ける

参考

1年1組
欠席の連絡4名

熱：1名→インフルエンザに変更で、0名
(可能な限り修正する)

下痢と嘔吐：1名
インフルエンザ（今日から）：2名→3名

7-2-2. 出席停止届け入力画面（出席停止の修正入力：演習解説）

同じ日、同じ理由での追加・修正入力手順
1年1組にて1名（インフルエンザ）が追加となった場合の出席停止入力の修正

①出席停止ボタンをクリック

②新規/作成済みより「作成済み：インフルエンザ」を選択

③再表示ボタンをクリック

④1年1組を3名に修正

⑤修正登録ボタンをクリック

⑥修正後登録内容に間違いがないか確認

⑦登録ボタンをクリック

⑧登録完了画面が表示される

⑨修正後出席停止届けPDFを作成

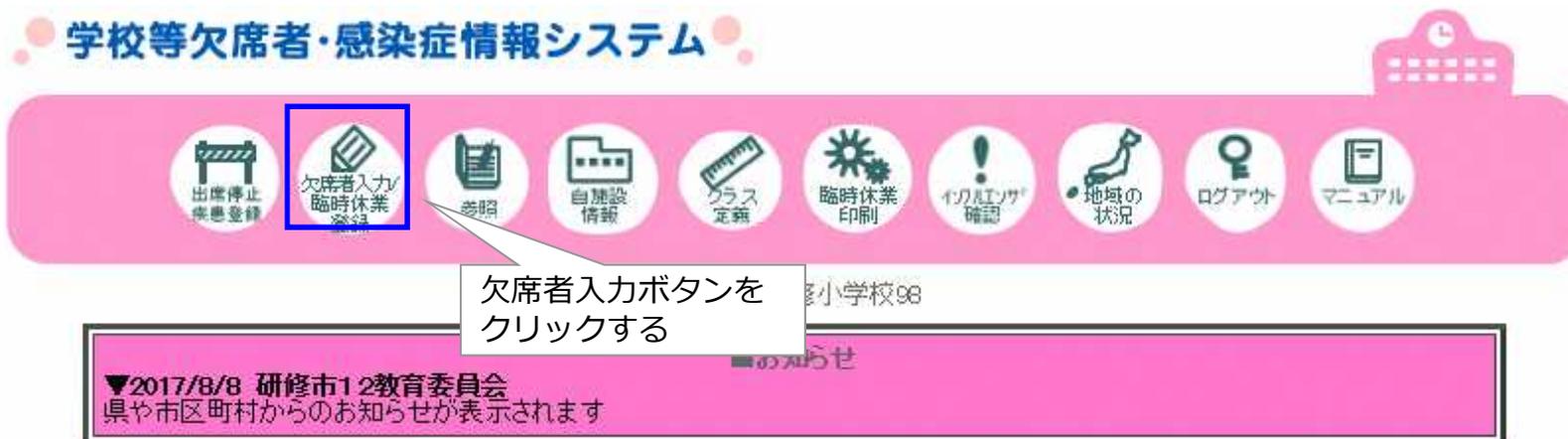
◆疾患による「出席停止・欠席・登校の初日(出席停止時は指示日)のみ」に入力を行ってください。◆
◆疾患毎、「出席停止・欠席・登校の別」毎に入力を行ってください。◆

疾患による出席停止・欠席・登校の別	出席停止
出席を停止させた理由および期間 (疾患による欠席・登校の理由)	理由：インフルエンザ ※感染性肺炎は流行性嘔吐下痢症を含みます ※その他感染症を選択した場合は理由をここに記入(自由記入)
予定終了年月日	2017年8月11日 未定であれば物に調整できません この期間自動的に行われますが、疾患により数を入力してください。
疾患により登録する児童(生徒)の学年別人数	1年1組 3名 ※疾患により数を入力してください。
学校医の意見 (自由記入)	
今後の措置 (自由記入)	
その他 (自由記入)	

このボタンは出席停止の期間の終了を意味するものではありません。現在登録されている出席停止の記録そのものを削除します。出席停止を誤って登録された場合のみにお使いください。

7-2-3. 欠席者情報入力画面（欠席者情報の修正入力：演習解説）

● 学校等欠席者・感染症情報システム ●



[事故欠・忌引等入力](#)

● 欠席者入力

※日付変更を行った場合はこのボタンを押して下さい↓

<< 前日 日付: 2017年 8月 8日 再表示 翌日 >>

[マニュアル・利用者ページ](#)
[一括簡易入力・修正はこちら](#)
※一括簡易入力画面では、出席停止の入力できません。

出席停止の登録(命じた日のみ)はこちら [出席停止の届け](#)

学校閉鎖の場合はこちらをクリックしてください 学校閉鎖: [学校閉鎖](#)

入力済みの1年の修正ボタンをクリックする

修正	<input type="radio"/> 1年(入力済)	学年閉鎖
入力	<input type="radio"/> 2年(未入力)	学年閉鎖
入力	<input type="radio"/> 3年(未入力)	学年閉鎖
入力	<input type="radio"/> 4年(未入力)	学年閉鎖
入力	<input type="radio"/> 5年(未入力)	学年閉鎖
入力	<input type="radio"/> 6年(未入力)	学年閉鎖
入力	<input type="radio"/> 特別支援学級(未入力)	学年閉鎖
入力	<input type="radio"/> 教職員(未入力)	

7-2-4. 学年別入力画面（欠席者情報の修正入力：演習解説）

出席停止の修正入力後の状態
学年：1年の入力開始時

メインメニューから欠席者入力画面に切り替えて、
がないか確認

2017年8月8日 2017年8月8日の出席停止人数の調整はこちら↓

学年	クラス	欠席・出席停止者総数(人)	欠席者の症状(人)							出席停止(人)										学級閉鎖					
			発熱	頭痛	急性呼吸器症状	下痢・腹痛	嘔気・嘔吐	発疹	インフルエンザ様症状	その他	インフルエンザ	感染性胃腸炎	溶連菌感染症	おたふくかぜ	水ぼうそう	マイコプラズマ感染症	伝染性紅斑	手足口病	咽頭結膜熱		流行性角結膜炎	その他			
1年	1組	4	1	0	0	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	<input type="checkbox"/> 閉鎖
1年	2組	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	<input type="checkbox"/> 閉鎖

インフルエンザによる出席停止者が3名になったため、3名が自動計上されています

欠席入力の修正後の状態
学年：1年の入力後

2017年8月8日 2017年8月8日の出席停止人数の調整はこちら↓

学年	クラス	欠席・出席停止者総数(人)	欠席者の症状(人)							出席停止(人)										学級閉鎖					
			発熱	頭痛	急性呼吸器症状	下痢・腹痛	嘔気・嘔吐	発疹	インフルエンザ様症状	その他	インフルエンザ	感染性胃腸炎	溶連菌感染症	おたふくかぜ	水ぼうそう	マイコプラズマ感染症	伝染性紅斑	手足口病	咽頭結膜熱		流行性角結膜炎	その他			
1年	1組	4	0	0	0	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	<input type="checkbox"/> 閉鎖
1年	2組	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	<input type="checkbox"/> 閉鎖

欠席と出席停止人数の合計は変わらないので修正しません

熱での欠席者がインフルエンザでの出席停止となったので、0に修正します

最後に登録ボタンをクリックします

7-3-1. 過去に遡っての出席停止入力（演習）

シナリオ3. 2年1組で3日前に感染性胃腸炎での出席停止があったが（本日も継続中）、出席停止の入力を忘れていたので、日付を遡って入力する。

7-3-2. 出席停止届け入力画面（過去に遡っての入力：演習解説）

3日前に2年1組で1名（感染性胃腸炎）での出席停止があったが、入力が漏れていた為、過去指示日に遡っての入力をおこなう

① 出席停止ボタンをクリック

② 3日前の日付（指示日）を選択

③ 再表示ボタンをクリック

④ 出席停止理由の感染性胃腸炎を選択

⑤ 出席停止の予定終了日が自動計上されています（決まっていたら入力します）

⑥ 2年1組の1名を入力

⑦ 確認ボタンをクリック

⑧ 登録内容に間違いがないか確認

⑨ 登録ボタンをクリック

⑩ 登録完了画面が表示される

8-1. 出席停止月報入力画面・出席停止月報書類作成

● 学校等欠席者・感染症情報システム

施設名： 研修小学校97

①出席停止ボタンをクリック

月報作成

2017年8月8日

②月報作成をクリック

● 出席停止月報

2017年8月 再表示

※現在最新分の月報情報が作成されていません。
「月報情報作成」ボタンまたは、「月報情報更新」ボタンにより最新分の月報情報を作成してください。

③作成対象の年・月を選択して再表示をクリックします

⑥月報情報が更新されるとメッセージを表示します

2017年8月のデータを更新しました

2017年8月 再表示

※現在登録されている内容で月報PDFを出力する場合は「PDF出力」にて月報を作成できます

PDF出力

理由	学年クラス	メモ欄	出席停止を指示した日	出席停止期間
インフルエンザ	1年1組		2017年8月8日	2017年8月8日～2017年8月12日
インフルエンザ	1年1組		2017年8月8日	2017年8月8日～2017年8月12日
インフルエンザ	1年1組		2017年8月8日	2017年8月8日～2017年8月13日
感染性胃腸炎	2年1組		2017年8月5日	2017年8月5日～2017年8月8日

背景が着色されている項目は、前日分月報を作成した後で更新された箇所です。
月報作成は件数によって、処理に時間がかかる場合があります。
メモ欄には出席番号等をご記入ください。氏名は入れないでください。
月報情報更新後に月内の登録済み出席者情報から出席停止者を削除（減少）した場合減少した人数分は削除されず、保持されます。

④実際の個人毎の出席停止期間（開始～終了）を入力します

⑦表示月の月報情報がある場合、[PDF出力]のボタンが表示されます

※[PDF出力]ボタンをクリックすると選択されている作成済み月報の情報を元に書類作成が行えます

メモ欄に入力した内容はPDFには反映されません（任意入力）

月報情報更新

⑤月報情報更新をクリックすることで月報情報が作成されます

8-2. 出席停止月報報告様式（参考画面）

平成 29 年 8 月 17 日

研修市 1 2 教育委員会教育長 殿

研修小学校98 校長
(公 印 省 略)

感染症による出席停止について（報告）

このことについて、下記のとおり報告します。

記

- 1 学校の名称 研修小学校98
- 2 出席を停止させた幼児児童生徒及び理由、期間、指示した年月日

番号	学年・組	理由	期間	指示した年月日
1	1年1組	インフルエンザ	8月8日～8月12日	2017年8月8日
2	1年1組	インフルエンザ	8月8日～8月12日	2017年8月8日
3	1年1組	インフルエンザ	8月8日～8月13日	2017年8月8日
4	2年1組	感染性胃腸炎	8月5日～8月8日	2017年8月5日

- 3 その他参考となる事項

8-3. 疾患の登録月報作成（保育園）

疾患の登録画面の右上の「月報作成」をクリックすると、この画面が表示されます

施設名：デモ保育園

●感染症発生状況調べ **月報を作成する年月を選択**

2010年 8月 再表示

前月報情報を作成した後に、疾患の登録・内容変更が行われています。
現在作成済みの月報情報を破棄し、再集計を行う場合はこちら→ **再集計**

現在作成済みの月報情報を、出力する場合はこちら→ **PDF出力**

疾患名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
1 麻疹(はしか)						
2 百日咳						
3 インフルエンザ						
4 水痘(みずぼうそう)						
5 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)						
6 手足口病				1		1
7 風疹	1					
8 伝染性紅斑(りんご病)						
9 流行性角結膜炎						
10 咽頭結膜熱(プール熱)						
11 急性出血性結膜炎						
12 9, 10, 11以外の急性結膜炎						
13 突発性発疹						
14 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎						
15 ヘルパンギーナ						
16 感染性胃腸炎						
17 16以外の感染性下痢						
18 異型肺炎						
備考						

**月報情報が作成されている場合
出力ボタンが表示されます**

**疾患の登録にて入力された内容
が集計で表示されます
人数の修正が行えます**

**[月報情報更新]にて入力した
内容で月報情報が作成されます**

月報情報更新

ページTOPへ

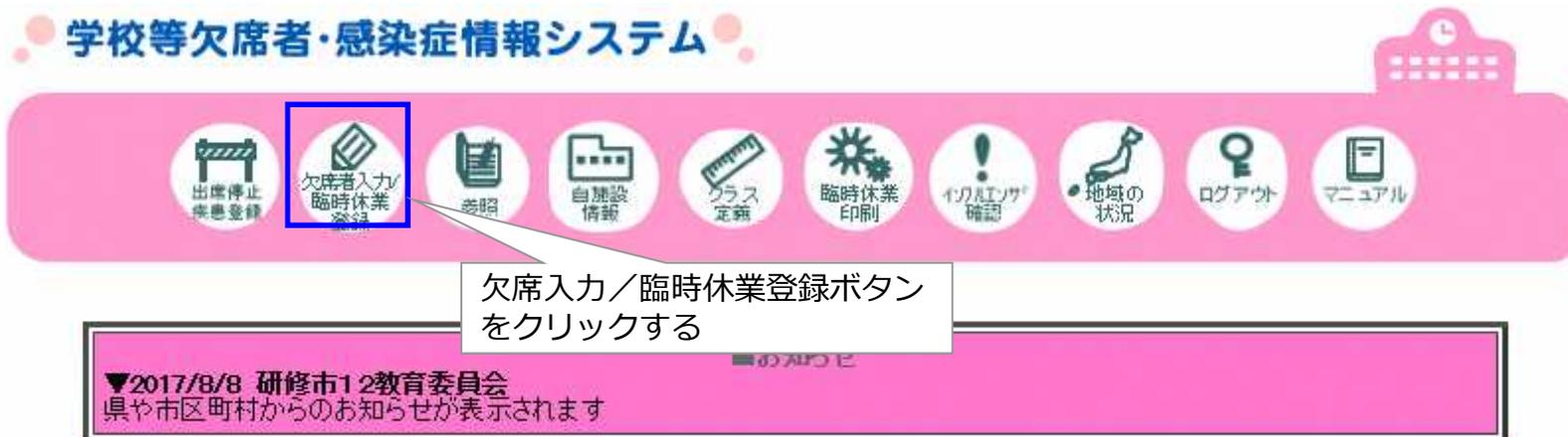
感染症発生状況調べ

2010年 06月分 てすとんほいくえん保育園集計

疾患名	クラス	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1 麻疹(はしか)		1		3		5		9
2 百日咳		1	2	3	4	5	6	21
3 インフルエンザ様疾患							5	5
4 水痘(みずぼうそう)								
5 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)				3				3
6 手足口病			3					3
7 風疹								
8 伝染性紅斑(りんご病)								
9 流行性角結膜炎								
10 咽頭結膜熱(プール熱)								
11 急性出血性結膜炎								
12 9, 10, 11以外の急性結膜炎								
13 突発性発疹								
14 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎								
15 ヘルパンギーナ								
16 感染性胃腸炎					4			4
17 16以外の感染性下痢								
18 異型肺炎								
19 無菌性髄膜炎								
20 伝染性膿痂疹(とびひ)								
21 川崎病								
22		5	3			3		
合計		7	8	9	8	13	11	56
備考								

9-1. 臨時休業登録（欠席者入力画面）

● 学校等欠席者・感染症情報システム ●



[事故欠・忌引等入力](#)

● 欠席者入力

※日付変更を行った場合はこのボタンを押して下さい↓

<< 前日 日付: 2017年 8月 8日 再表示 翌日 >>

[マニュアル・利用者ページ](#)
[一括簡易入力・修正はこちら](#)
※一括簡易入力画面では、
出席停止の入力できません。

出席停止の登録(命じた日のみ)はこちら

出席停止の届け

学校閉鎖の場合はこちらをクリックしてください

学校閉鎖:

学校閉鎖

入力済みの
1年の修正
ボタンをク
リックする

- | | |
|----|--------------|
| 修正 | ○1年(入力済) |
| 入力 | ○2年(未入力) |
| 入力 | ○3年(未入力) |
| 入力 | ○4年(未入力) |
| 入力 | ○5年(未入力) |
| 入力 | ○6年(未入力) |
| 入力 | ○特別支援学級(未入力) |
| 入力 | ○教職員(未入力) |

- | |
|------|
| 学年閉鎖 |

学年閉鎖・学校閉鎖は
ここをクリックすれば
入力画面が表示される

9-2. 学級閉鎖入力（欠席者入力画面）

● 学校等欠席者・感染症情報システム ●



■ 欠席者入力画面

2017年8月8日 ※出席停止の書類には反映されません
2017年8月8日の出席停止人数の調整は

学年	クラス	欠席・出席停止者総数(人)	欠席者の症状(人)							出席停止(人)										学級閉鎖				
			発熱	頭痛	急性呼吸器症状	下痢・腹痛	嘔気・嘔吐	発疹	インフルエンザ様症状	その他	インフルエンザ	感染性胃腸炎	溶連菌感染症	おたふくかぜ	水ぼうそう	マイコプラズマ感染症	伝染性紅斑	手足口病	頭結膜熱		性角結膜炎	その他		
1年	1組	4	0	0	0	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	<input type="checkbox"/>
1年	2組	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	<input type="checkbox"/>
1年	3組	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	<input type="checkbox"/>
1年	4組	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	<input type="checkbox"/>

コメント

・複数の症状が該当する場合には、すべての症状に加重して下さい。

学級閉鎖を入力する場合、チェックをいれます
 ※チェックの入った状態で欠席者入力画面にて[登録]をクリックすると学級閉鎖画面へ遷移します

登録をクリックすると学級閉鎖入力画面が表示されます

9-3. 学級閉鎖入力画面

(※演習問題とは別の設定になっています)

●学級閉鎖

日付:2017年04月18日

インフルエンザ

①学級閉鎖を行う疾患名を選択します
初期値は「インフルエンザ」となっております

学年	クラス	総患者数 (総欠席者数)	措置内容 措置期間	主要症状	備考
2年	1組	7人	学級閉鎖 2017年4月18日 ~ 2017年4月21日	<input checked="" type="checkbox"/> 発熱(38.5 °C) <input checked="" type="checkbox"/> 咽頭痛 <input type="checkbox"/> 関節痛 <input checked="" type="checkbox"/> 倦怠感 <input checked="" type="checkbox"/> 悪寒 <input type="checkbox"/> 腹痛 <input type="checkbox"/> 下痢 <input checked="" type="checkbox"/> 咳(かぜ) <input type="checkbox"/> 頭痛 <input type="checkbox"/> 嘔吐 <input type="checkbox"/> 嘔気 <input type="checkbox"/> その他	

②学年・クラスを確認します

③人数を確認・必要に応じて修正します

④人数を確認・必要に応じて修正します

⑤措置内容を確認します
措置期間を選択します
当該閉鎖に係る主要症状にチェックを入れます

⑥[登録]をクリックします
※このボタンをクリックすると、教育委員会、保健所から参照できるデータを生成します。必ずクリックしてください

登録
登録キャンセル

※総患者数は、該当症状での「総欠席者」+「登校しているが、症状を発症している者」の総数を入力してください

インフルエンザによる閉鎖の場合、総欠席者数は、「インフルエンザ様症状の欠席人数」+「インフルエンザによる出席停止の人数」を入力してください

9-4. 学級閉鎖確認画面

メインメニューの〔臨時休業印刷〕をクリックすると、学級閉鎖確認画面が表示されます

<<前日 閉鎖の初日: [2017]年 [4]月 [18]日 翌日 >>

再表示 ※日付・施設・疾患を変更した場合はこのボタンを押して下さい

インフルエンザ 疾患発生状況

※現在登録されている内容で臨時休業PDFを出力する場合は「PDF出力」にて作成できます

PDF出力

報告月日	所属報告者	施設名	所在地	在籍	発生範囲	在籍	総患者数 (総欠席者数)	措置内容 措置期間	主要症状	備考
[2017]年 [4]月 [18]日	研修校長	研修小学校97	X X 県 X X 市 X X	720名	2年1組	30名	7名 4名	<input checked="" type="checkbox"/> 発熱 (38.5℃) <input checked="" type="checkbox"/> 咽頭痛 <input type="checkbox"/> 関節痛 <input checked="" type="checkbox"/> 倦怠感 <input checked="" type="checkbox"/> 悪寒 <input type="checkbox"/> 腹痛 <input type="checkbox"/> 下痢 <input checked="" type="checkbox"/> 咳(かぜ) <input type="checkbox"/> 頭痛 <input type="checkbox"/> 嘔吐 <input type="checkbox"/> 嘔気 <input type="checkbox"/> その他		

確認

入力済みの学級閉鎖データを当該画面でも修正できます

①内容を確認後、[確認] ボタンをクリックします

報告月日	所属報告者	施設名	所在地	在籍	発生範囲	在籍	総患者数 (総欠席者数)	措置内容 措置期間	主要症状	備考
2017年04月18日	研修校長名	研修小学校97 123-456-7890	X X 県 X X 市 X X 町 2-1	720名	2年1組	30名	7名 4名	学級閉鎖 2017年4月18日 ～ 2017年4月21日	発熱 38.5℃ 咽頭痛 倦怠感 悪寒 咳(かぜ)	

上記の内容で修正登録します
※修正登録ボタンを押さないとデータは修正されません。必ず修正登録ボタンを押してください

修正登録
戻る

②登録内容を確認後、[修正登録] ボタンをクリックします

③[PDF保存]のボタンが表示されます
※[PDF保存]ボタンをクリックすると直前に登録した学級閉鎖の情報を元に書類作成が行えます

施設名: 研修小学校〇

登録完了しました

PDF保存

9-5. 学級閉鎖報告様式（参考画面）

(FAX連絡用)

※報告者 施設名: 研修小学校97
 所属:
 氏名: 研修校長名

連絡先(電話番号): 123-456-7890

平成29(2017)年4月18日

インフルエンザ疾患 発生状況【学校用】

報告月日	所属報告者	施設名	所在地	在籍	発生範囲	在籍	患者総数 (欠席者数)	措置内容 措置期間	主要症状(該当のものに○)	備考
2017年 4月 18日	研修校長名	研修小学校 97	XX県XX市X X町2-1	名 720	2年1組	名 30	名 7 (4)	学級閉鎖 2017-04-18 ~ 2017-04-21	発熱(38.5℃)、咽頭痛、咳、頭痛 関節痛、倦怠感、悪寒、腹痛、下痢、 嘔吐、吐気、その他()	
							()		発熱()℃、咽頭痛、咳、頭痛 関節痛、倦怠感、悪寒、腹痛、下痢、 嘔吐、吐気、その他()	
							()		発熱()℃、咽頭痛、咳、頭痛 関節痛、倦怠感、悪寒、腹痛、下痢、 嘔吐、吐気、その他()	
							()		発熱()℃、咽頭痛、咳、頭痛 関節痛、倦怠感、悪寒、腹痛、下痢、 嘔吐、吐気、その他()	
							()		発熱()℃、咽頭痛、咳、頭痛 関節痛、倦怠感、悪寒、腹痛、下痢、 嘔吐、吐気、その他()	

〈記載方法〉

1. 「報告月日」欄は、保健所に報告があった月日を記載する
2. 「所属報告者」欄は、施設の報告者の名前を記載する
3. 「所在地」は、番地まで記載する
4. 左側の「在籍」欄は、施設全体の人数を記載する
5. 右側の「在籍」欄は、学級閉鎖の場合は該当学級の人数、学年閉鎖の場合は該当学年の人数を記載する
6. 主要症状の「発熱」欄には、必ず温度を記載する
7. 備考欄には、次の内容を記載する
 - (1) 1学年が1学級の場合は「1学年1学級」と記載する
 - (2) 同じ施設で2回以上報告があった場合、2回目以降は必ず「再」と記載する

市区町村教育委員会のための 「学校等欠席者・感染症情報システムの 市町村教育委員会確認チェックシート」 のための作業手順資料

せっかく導入したにもかかわらず、学校の入力率が低かったり、地域の一部の学校に限られていたりすることでシステムの機能を十分に活用されていない場合があります。導入した行政側の対応が今後の安定した運営につながります。

「学校等欠席者・感染症情報システム」を活用するためには、まず学校側の入力率を上げましょう。全学校が入力されていることが望ましいですが、どの程度であるのかは把握しましょう。”高い入力率を維持するために何が必要か”ということを考えることが、システムの活用につながります。

「学校等欠席者・感染症情報システム」 にログインしましょう。

<https://school.953862.net/>[都道府県名]/[市区町村名]/

(例えば茨城県水戸市であれば、<https://school.953862.net/ibaraki/mito/>)

にアクセスし、IDとパスワードを入力してログインしましょう。

URLは直接入力します(検索ではアクセスできません)。

The screenshot shows a web browser window with the URL <https://school.953862.net/ibaraki/mito/> in the address bar. The page title is '感染症情報収集システム'. There are two text boxes on the left: one pointing to the address bar with the text 'URLを入力しアクセスします (検索ではアクセスできません)' and another pointing to the login ID and password fields with the text 'IDとパスワードを入力しログインします'. The login form has a dropdown menu for 'ログインID:' and a text input for 'パスワード:'. At the bottom, there is a notice dated '2014年12月15日' from the National Institute of Infectious Diseases regarding an increase in influenza cases and school closures.

・ログインできた場合

・ログインできない場合

⇒ 主管課へ連絡して下さい。

行政の操作方法①

施設検索

The screenshot shows a web browser window with the URL <https://scl11.953862.net/ibaraki/pref/0325>. The page title is "感染症情報収集システム". A navigation bar contains several icons: "施設検索" (Facility Search), "地域の状況" (Regional Status), "参照" (Reference), "自施設情報" (Self-facility Information), "出席停止疾患登録" (Attendance Stop Disease Registration), "臨時休業印刷" (Temporary Closure Printing), "インフルエンザ確認" (Influenza Confirmation), "ログアウト" (Logout), and "マニュアル" (Manual). The "施設検索" icon is circled in blue, and a large blue arrow points to it from the top left. Below the navigation bar, the text "施設名: 茨城県教育委員会" is displayed. There are several links: "地域の状況", "出席停止の状況", "教職員の欠勤状況", "一般公開情報(全国)", and "罹患率グラフ". On the right side, there are links for "ログイン後のコメント作成画面" and "マニュアル・利用者ページ". A dropdown menu for "地域:" is set to "全域". Below that is a date selector showing "2015年6月3日" with "前日" and "翌日" buttons. A note says "※日付変更を行った場合はこのボタンを押して下さい!". The main content area is titled "2015年06月03日 の地域の状況". It contains a table of statistics for various symptoms and conditions, such as "欠席・出席停止者総数", "発熱", "頭痛", "急性呼吸器症状", "下痢・腹痛", "嘔気・嘔吐", "発疹", "インフルエンザ様症状", "学級閉鎖", "出席停止(インフルエンザ)", "出席停止(感染性胃腸炎)", and "出席停止(インフル・感染性胃腸炎以外合計)". At the bottom, there is a link for "欠席・出席停止者総数".

確認のポイント

全ての施設が「パスワード」「中学校区」の設定ができています

行政の操作方法② 地図の確認(県の地図)



感染症情報収集システム

施設検索 地域の状況 参照 自施設情報 出席停止疾患登録 臨時休業印刷 インフルエンザ確認 ログアウト マニュアル

施設名: 茨城県教育委員会

①メニューバーで地域の状況を選択すると茨城県の地図が表示されます。
一県内の状況は？

行政の操作方法② 地図の確認(市町村の地図)

感染症情報収集システム

施設検索 地図の状況 参照 自発疫情報 出席停止疾患登録 臨時休業印刷 インフルエンザ確認 ログアウト マニュアル

施設名: 茨城県教育委員会

●地域の状況 出席停止の状況 教職員の欠勤状況 一般公開情報(全児童数) 罹患率グラフ

都道府県名: 茨城県

地域: 全域

2015年06月03日の地域の状況

各市区町村には所在する学校、保育園分が計上されます。出席停止・疾患登録には疾患による欠席・登校(教職員分を含む)が計上されます。

欠席・出席停止者総数 発熱 頭痛
急性呼吸器症状 下痢・腹痛 嘔気・嘔吐
発疹 インフルエンザ様症状 学級閉鎖
出席停止(インフルエンザ) 出席停止(感染性胃腸炎) 出席停止(インフル・感染性胃腸炎以外合計)

欠席・出席停止者総数

地域: 全域

水戸市 日立市 土浦市 古河市 石岡市 結城市 龍ヶ崎市 下妻市 常総市 常陸太田市 高萩市 北茨城市 笠間市 取手市 牛久市 つくば市 ひたちなか市 鹿嶋市 潮来市

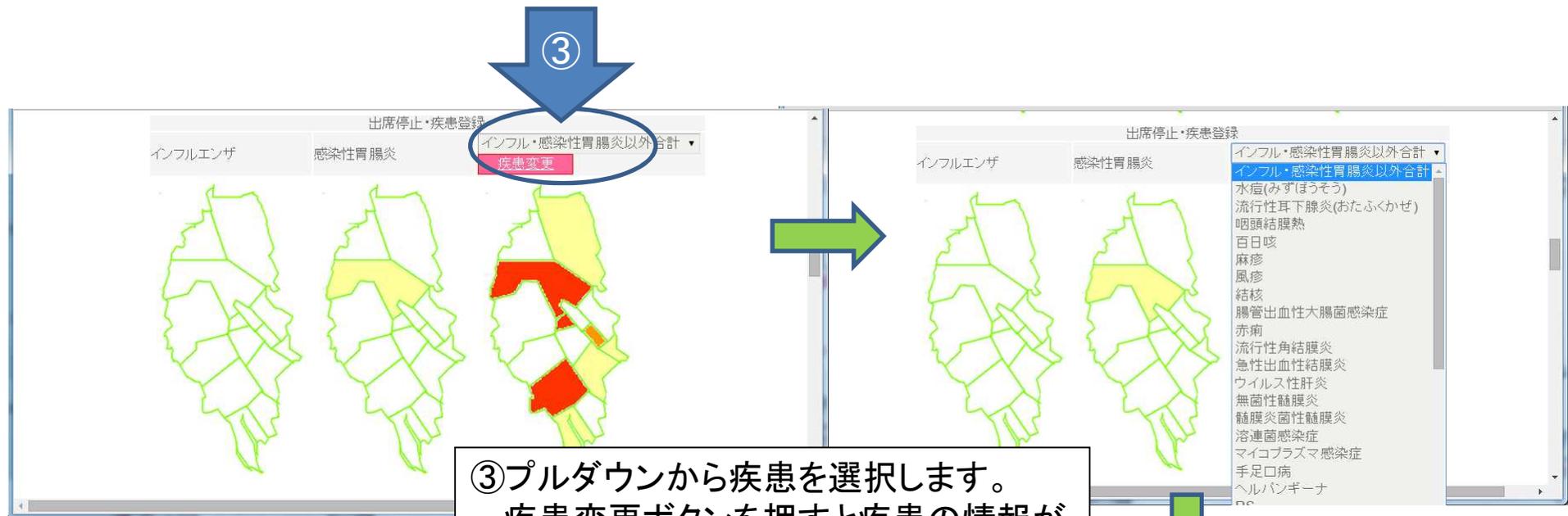
欠席・出席停止者総数 発熱 頭痛

筑波西 筑波東 大穂 豊里 春日 高き 桜 手代木 竹園東 並木 高山 谷田部東 谷田部 高崎

②プルダウンから市町村を選択します。再表示ボタンを押すと市町村の地図が表示されます。
一管内の状況は？

ポイント
市町村単位で、中学校区の地図表示
症状・疾患単位での地図表示

行政の操作方法② 地図の確認(市町村の地図)



③プルダウンから疾患を選択します。
疾患変更ボタンを押すと疾患の情報が
表示されます。

ポイント

市町村単位で、中学校区の地図
症状・疾患単位での地図表示
(疾患はインフルエンザ、感染性胃腸炎
以外を変更して地図表示)



行政の操作方法④

出席停止・疾患登録の確認(1)



ポイント1

出席停止(保育園におけ
 欠席
 登校・登園(診断されてい

出席停止・欠席・登校の別:

自治体または設置者: 水戸市

施設区分: 全て

検索開始日付: 2015年5月22日

検索終了日付: 2015年5月28日

- ポイント1
出席停止、欠席、登校・登園状況を確認していますか？
- ポイント2
インフルエンザ(H7N9)が登録されていますか？
- ポイント3
その他感染症やアデノウイルス等の登録内容は確認していますか？

ポイント2

※出席停止を命じた日別の人数を示しております。
 ※県立学校・私立学校・国立学校は再掲です。

※「その他アデノウイルス感染症」は出席停止入力時の疾患名「咽頭結膜熱、流行性角結膜炎以外のアデノウイルス感染症」です
 ※表の疾患名「インフルエンザ」について、出席停止・疾患登録にて「インフルエンザ」として登録された分のみを計上しております
 インフルエンザA型、インフルエンザB型、インフルエンザA(H1N1)2009、インフルエンザ(H7N9)、新型インフルエンザについては、各疾患名の列にてご確認ください

自治体名	インフルエンザ	インフルエンザA	インフルエンザB	インフルエンザA(H1N1)2009	インフルエンザ(H7N9)	新型インフルエンザ	その他アデノウイルス感染症	川崎病	デング熱	その他感染症																						
水痘「みずぼうそう」	流行性耳下腺炎「おたふく病」	咽頭結膜熱	百日咳	麻疹	風疹	結核	腸管出血性大腸菌感染症	赤痢	流行性角結膜炎	急性出血性結膜炎	ウイルス性肝炎	無菌性髄膜炎	髄膜炎(菌性髄膜炎)	感染性胃腸炎	溶連菌感染症	手足口病	ヘルパンギーナ	RS	伝染性紅斑「りんご病」	突発性発疹	A群溶血性レンサ球菌	水いぼ「伝染性軟疣」	伝染性膿痂疹「いぼいぼ」	アタラクシア	インフルエンザ「感染症」	麻疹「疑い」	風疹「疑い」	新型インフルエンザ	その他アデノウイルス感染症	川崎病	デング熱	その他感染症

ポイント3

行政の操作方法⑤

臨時休業印刷の表示

① 臨時休業印刷を押します。
 ② 臨時休業週報作成を押します。
 ③ 疾患名を選択し、週報作成ボタンを押します。

施設名: 茨城県教育委員会

●臨時休業週報

対象期間開始日付: 2015年5月28日
 対象期間終了日付: 2015年6月3日
 疾患名: インフルエンザ

指定された期間内に開始された学級閉鎖・学年閉鎖・学校閉鎖について集計します。
 同一学級で閉鎖期間が終了する前に学年閉鎖・学校閉鎖が開始された学級閉鎖については除外されます。
 同一学年で閉鎖期間が終了する前に学校閉鎖が発生した学年閉鎖については除外されます。
 同一学校でこの期間に別の学級・学年で学級閉鎖と学年閉鎖が実施された場合に、学級閉鎖の実施校数に計ししない。場合の学校数が学級閉鎖の[]に示されています。
 同一学校でこの期間に別の学級閉鎖・学年閉鎖と休校が実施された場合に、学級閉鎖・学年閉鎖

ポイント
 インフルエンザ以外の臨時休業もあります

報告月日	所属報告者	施設名	所在地	在籍	発生範囲	在籍	総患者数 (総欠席者数)	措置内容 措置期間	主要症状	備考
2015年5月29日	[]	[] 中 学校 Tel 0280-76-7878	茨城県 []	263名	2年3組	28名	7名 3名	学級閉鎖 2015年5月29日 ～ 2015年6月2日	発熱 (38.0℃) 咽頭痛 倦怠感	

PDF保存

●臨時休業週報

対象期間開始日付: 2015 年 5 月 28 日

対象期間終了日付: 2015 年 6 月 3 日

疾患名 : インフルエンザ

週報作成

指定された期間内に開始された学級閉鎖・学年閉鎖・学校閉鎖について集計されます。
 同一学級で閉鎖期間が終了する前に学年閉鎖・学校閉鎖が開始された学級閉鎖については除外されます。
 同一学年で閉鎖期間が終了する前に学校閉鎖が発生した学年閉鎖については除外されます。
 同じ学校でこの期間に別の学級・学年で学級閉鎖と学年閉鎖が実施された場合に、学級閉鎖の実施校数に計上しない場合の学校数が学級閉鎖の□に示されています。
 同じ学校でこの期間に別の学級閉鎖・学年閉鎖と休校が実施された場合に、学年閉鎖の実施校数に計上しない場合の学校数が学年閉鎖の□に示されています。

施設区分	対象学校数	在籍者数	患者数合計	欠席者数合計	学級閉鎖数 (学校数)	学年閉鎖数 (学校数)	学校閉鎖数
合計	2	63	15	7	2 (2) [0]	0 (0) [0]	0
保育園	0	0	0	0	0 (0) [0]	0 (0) [0]	0
幼稚園	0	0	0	0	0 (0) [0]	0 (0) [0]	0
小学校	0	0	0	0	0 (0) [0]	0 (0) [0]	0
中学校	2	63	15	7	2 (2) [0]	0 (0) [0]	0
高等学校	0	0	0	0	0 (0) [0]	0 (0) [0]	0
その他	0	0	0	0	0 (0) [0]	0 (0) [0]	0

※□内の数字について、中高一貫校は高等学校に計上されます
 ※□内の数字について、小中一貫校は中学校に計上されます

csv出力

施設区分毎の患者数や欠席者数、閉鎖措置数等の情報が表示されます。csvファイルデータを取得することもできます。

行政の操作方法⑥ 罹患率グラフの表示

①地域の状況を押します。
 ②罹患率グラフを押します。
 ③グラフ種別は累積罹患率、疾患名や期間等を選択し、グラフ表示ボタンを押すとグラフが表示されます。

学校欠席者情報収集システムによるインフルエンザ累積罹患率
 茨城県 2013/4/1~2014/3/31

csv出力

※グラフ部分をクリックすると、別ウィンドウでグラフを拡大表示します

期間	累積罹患率
2013/4/1	0
2013/5/1	1000
2013/6/1	2000
2013/7/1	3000
2013/8/1	4000
2013/9/1	5000
2013/10/1	6000
2013/11/1	7000
2013/12/1	8000
2014/1/1	9000
2014/2/1	10000
2014/3/31	11000

●出席停止グラフ条件 施設別罹患率グラフ

グラフ種別
 累積罹患率
 流行曲線(週単位)
 流行曲線(日単位)

対象範囲 県全域

疾患名 インフルエンザ

施設選択
 保育園 幼稚園 こども園 小学校 中学校 高等学校 小中一貫
 中高一貫 特別支援学校 高等専門学校 専門・専修学校

集計開始日 2016年4月1日
 集計終了日 2016年8月24日

※疾患名「インフルエンザ」では出席停止入力画面にて入力された インフルエンザ及びインフルエンザA型、インフルエンザB型、インフルエンザA(H1N1)2009、新型インフルエンザの合計で表示されます。
 ※疾患名「溶血性連鎖球菌咽頭炎」では出席停止入力画面にて入力された 溶血性連鎖球菌咽頭炎の合計で表示されます。

グラフ表示

行政の操作方法⑦

流行曲線(週別・日別)の表示

⑦

感染症情報収集システム

施設検索 地域の状況 参照 自施設情報 出席停止疾患登録 臨時休業印刷

施設名: 茨城県教育委員会

②

地域の状況 出席停止の状況 教職員の欠勤状況 一般公開情報(全国)

罹患率グラフ

ログイン後のコメント作成画面

csv出力

※グラフ部分をクリックすると、別ウィンドウでグラフを拡大表示します

流行曲線(日単位)

グラフ種別

- 累積罹患率
- 流行曲線(週単位)
- 流行曲線(日単位)

対象範囲

ひたちなか市

疾患名

感染性胃腸炎

施設選択

- 保育園 幼稚園 こども園 小学校 中学校 高等学校
- 中高一貫 特別支援学校 高等専門学校 専門・専修学校

集計開始日

2013年 9月 1日

集計終了日

2013年 12月 31日

※疾患名「インフルエンザ」では出席停止入力画面にて入力された インフルエンザ及びインフルエンザA型、インフルエンザB型、インフルエンザA(H1N1)v009、新型インフルエンザの合計で表示されます

※疾患名「溶連菌感染症」及び「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎」では出席停止入力画面にて入力された 溶連菌感染症及びA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の合計で表示されます

グラフ表示

- ①地域の状況を押します。
- ②罹患率グラフを押します。
- ③グラフ種別は流行曲線(週単位・日単位)、疾患名や期間等を選択し、グラフ表示ボタンを押すとグラフが表示されます。

行政の操作方法⑧

施設別罹患率

感染症情報収集システム

施設名: 茨城県教育委員会

①地域の状況を押します。

②罹患率グラフを押します。

③施設別罹患率グラフを押し、疾患名や期間、市町村等を選択し、条件検索ボタンを押すと、施設毎の罹患率・流行曲線一覧が表示されます。

施設別罹患率グラフ

施設名: 茨城県教育委員会

●出席停止施設別グラフ条件 罹患率グラフ

グラフ種別	<input type="radio"/> 累積罹患率 <input type="radio"/> 流行曲線(週単位) <input checked="" type="radio"/> 流行曲線(日単位)
対象範囲	ひたちなか市
疾患名	感染性胃腸炎
施設選択	<input checked="" type="checkbox"/> 保育園 <input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園 <input checked="" type="checkbox"/> こども園 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高等学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中高一貫 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高等専門学校 <input checked="" type="checkbox"/> 専門・専修学校
集計開始日	2013年9月1日
集計終了日	2013年12月31日

疾患名: インフルエンザ
 集計開始日: 2015年4月1日
 集計終了日: 2015年6月4日
 対象範囲: 水戸市
 施設選択: 保育園 幼稚園 こども園 小学校 中学校 高等学校 小中一貫 中高一貫 特別支援学校 高等専門学校 専門・専修学校

※検索条件を変更した場合には、再度「条件検索」ボタンを押して下さい

条件検索

(1) 所管している学校がすべて入っているか確認しましょう。

【確認の方法】「施設検索」で、施設名を確認します。

既に導入している学校からのIDやパスワードを忘れた際のお問い合わせはこの施設検索で行います。

Step 1.

感染症情報収集システム

施設検索

施設検索

ログインID

中学校区

施設名称

校長名

登録担当者

住所

連絡先電話番号

連絡先FAX番号

連絡先メールアドレス

検索

Step 2.

感染症情報収集システム

施設検索

施設情報 検索結果

検索条件変更
(全 14 件)

ID	PW	施設名	区分	校区	担当
00001	2122	70×小学校	学校	第一中学校	佐
11111	123456	71△小学校	学校	第一中学校	登
12312	123123	12300	学校	第一中学校	12
13099	maxell	研修小学校○	学校	第一中学校	山
13100	13100	登録小学校	学校	光中学校	朝
13111	13111	asss	学校	南中学校	a
131313	1	test0小学校	学校	浜山中学校	あ
132336	1323	132336	学校	第三中学校	1
13987	09876	葛城小学校テスト	学校	第二中学校	aa
77777	99999	test1小学校	学校	第三中学校	te
88888	88887	23小学校	小学校	河南中学校	あ

Step 3.

- ・全ての学校があった場合
⇒(2)へ進む
- ・登録がない学校があった場合
⇒主管課へ連絡してください。
(2)へ進む

※「施設検索」は市区町村教育委員会のみ表示されます(保健所等にはありません)。

(2) 初期設定が行われていない学校を確認しましょう

【確認の方法】「施設検索」で、パスワードを確認します。
パスワードが入っていない学校は初期設定をしていません。

Step 1.

感染症情報収集システム

施設検索 地域の状況 参照 自施設情報 出席停止 休校登録 臨時

施設情報 検索結果

検索条件変更 (全 14 件)

ID	PW	施設名	区分	校区	担
00001		O x 小学校	小学校	第一中学校	佐
11111	123456	□△小学校	小学校	第一中学校	登
12312	123123	12300	小学校	第一中学校	12
13099	maxell	研修小学校○	小学校	第一中学校	山
13100	13100	登録小学校	小学校	光中学校	朝

Step 2.

・全ての学校でパスワードが入っていた場合
⇒ (3)へ進む

・パスワードが入っていない学校(例:左図「O x 小学校」)があった場合

⇒その学校へ連絡して下さい。初期設定を促します。

- スタートアップ研修に参加した学校には、資料の確認をお願いします。

- 参加していない学校には、個別に説明して下さい。

統廃合の場合は、主管課へ連絡してください。

(3)へ進む

(3) 中学校区が入っていない学校があるかどうか確認しましょう

【確認の方法】「施設検索」で、中学校区を確認します。

中学校区が入っていない場合、その学校の情報が中学校区単位の地図や表に反映されていません。

Step 1.



感染症情報収集システム

施設検索 地域の状況 参照 自施設情報 出席停止 休校登録

施設情報 検索結果

検索条件変更 (全 14 件)

ID	PW	施設名	区分	校区
00001	2122	○×小学校	小学校	
11111	123456	□△小学校	小学校	
12312	123123	12300	小学校	
13099	maxell	研修小学校○	小学校	
13100	13100	登録小学校	小学校	

Step 2.

・全ての学校で中学校区が入っていた場合
⇒(4)へ進む

・中学校区が入っていない学校
(例:左図「○×小学校」)があった場合

⇒その学校へ連絡して下さい。学校側で「自施設情報」から中学校区を設定します。

(4)へ進む

(4) 今年度にはいって、一度もログインをしていない学校があるかどうか確認しましょう

【確認の方法】「参照」で在籍者数を確認します。

年度が替わる毎に、クラス設定をしなければなりません。在籍者数が空欄ということは、今年度に入ってからクラス設定が行われておらず、入力が一度もありません。サーベイランスは毎日するものであることをお伝え下さい。

Step 1.

施設名: デモ教育委員会

事故欠・忌引等参照

●参照表示施設範囲設定(選択した施設区分にて参照権限のある施設が表示できます)

保育園 幼稚園 小学校 中学校 高等学校 小中一貫
 中高一貫 特別支援学校 高等専門学校 専門・専修学校 [表示施設を更新](#)

マニュアル・利用者ページ

<< 前日 | ※日付変更を行った場合はこのボタンを押して下さい | 2014年12月15日 | 再表示 | 翌日 >>

※データ検索日を入力して【再表示】ボタンを押すと、該当日のデータが表示されます。
 ※欠席者入力画面で入力されたインフルエンザ様症状の数がインフルエンザ様症状に計上されます。
 ただし、学級・学年・学校閉鎖中のクラス・学年におけるインフルエンザ様症状の人数はインフルエンザ確認画面では0と表示され、下記の画面と異なる場合があります。

施設名	欠席・出席停止者総数(人)	欠席者の症状(人)										出席停止(人)					学年閉鎖	学校閉鎖	在籍者数												
		発熱	頭痛	急性呼吸器症状	下痢・腹痛	嘔気・嘔吐	発疹	その他	インフルエンザ様症状	インフルエンザ	感染性胃腸炎	溶連菌感染症	あたふたかぜ	水ぼうそう	マイコプラズマ感染症	伝染性紅斑				手足口病	咽頭結膜熱	急性扁桃炎	その他								
たいしゅ																								0	0	0	40				
12300																											0	0	0	40	
研修小学校○																												0	0	0	40
登録小学校																												0	0	0	0

Step 2.

- ・全ての学校で在籍者数が入っていた場合
⇒(5)へ進む
- ・在籍者数が入っていない学校(例:左図「登録小学校」)があった場合
⇒その学校へ連絡して下さい。学校側で「クラス定義」をします。
(5)へ進む

(5) 昨日からさかのぼって1週間の入力があるか確認しましょう

【確認の方法】「参照」で、その日休校でないにもかかわらず、入力のない施設を確認します。

サーベイランスは毎日実施しますので、毎日欠席者を入力します。欠席者がいない場合は、0人であることを登録します。欠席者が0人であれば、すべてに0が記載されます。

Step 1.



施設名: デモ教育委員会

施設検索 地域の状況 **参照** 自施設情報 出席停止 臨時休業 印刷 ログアウト マニュアル

施設名: デモ教育委員会

参照表示施設範囲() 利用した施設区分にて参照権限のある施設が表示できません)

保育園 幼稚園 小学校 中学校

中高一貫 特別支援学校 高等専門学校 専門・専修学校

※「前日」ボタンで1週間分さかのぼって確認しましょう。

<< 前日 2014年12月15日 再表示 >>

※データ検索日: 2014年12月15日 【再表示】ボタンを押すと、該当日のデータが表示されます。
 ※欠席者入力画面で入力されたインフルエンザ様症状の数がインフルエンザ種別別に計上されます。
 ただし、学級・学年・学校閉鎖中のクラス・学年におけるインフルエンザ様症状の人数はインフルエンザ確認画面では0と表示され、下記の画面と異なる場合があります。

施設名	欠席・出席停止者数(人)	欠席者の症状(人)										出席停止(人)				在籍者数							
		発熱	頭痛	急性呼吸器症候群	下痢・腰痛	嘔気・嘔吐	発疹	その他	インフルエンザ様症状	インフルエンザ	悪性発熱	溶連菌感染症	あたかもかぜ	水ぼうそう	伝染性紅斑		手足口病	咽頭結核熱	流行性角結膜炎	その他	学級閉鎖	学年閉鎖	学校閉鎖
たいしゅ	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40
12300	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40
研修小学校	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40
登録小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7

Step 2.

- ・その日休校でない全ての学校で、症状及び疾患名に人数が入力されていた場合
⇒(6)へ進む
- ・その日休校でないにもかかわらず、入力のない学校(例:左図「登録小学校」)があった場合
⇒その学校へ連絡して下さい。入力方法を知っているか確認しましょう。
 - スタートアップ研修に参加した学校には、資料の確認をお願いします。
 - 参加していない学校には、個別に説明して下さい。

(6) 正しく入力ができているか、確認しましょう

【確認の方法】すべての施設で下記の要領で確認します。

正しい入力が行われていないと地域の状況として数値が反映されません。

Step 1.

「参照」で疾患名に人数が入っている学校を確認しましょう。たとえば「登録小学校」でインフルエンザ1名となっているのを確認しましょう。



施設名	欠席・出席停止者数(人)	欠席者の症状(人)																		
		発熱	頭痛	急性呼吸器症状	下痢・腹痛	嘔気・嘔吐	発疹	インフルエンザ様症状	インフルエンザ	感染性胃腸炎	浮腫菌感染症									
研修小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
登録小学校	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0

Step 2.

「出席停止疾患登録」で、「登録小学校」を確認しましょう。正しく計上されていれば、「登録小学校」が青字になってリンクができる状態になっており、かつインフルエンザ1と数字が入っています。

Step 3.

- ・「参照」で疾患名に人数が入っている学校が全て「出席停止疾患登録」で青字になっている場合 ⇒ (7)へ進む
- ・「参照」で疾患名に人数が入っているのに「出席停止疾患登録」で青字になっていない学校がある場合 ⇒ (6)Step 4に進む

※「出席停止疾患登録」は出席停止の予定終了日時に関わらず、登録された初日のみ、情報が反映されます。

(8)「その他感染症」に計上がある場合、どういった疾患になっているのか確認しましょう

【確認の方法】その他感染症に計上のある学校で下記の要領で確認します。

Step 1.

「出席停止疾患登録」で、「その他感染症」に人数が入っている学校を確認しましょう。たとえば「登録小学校」で1名となっているのを確認しましょう。



施設名	水痘	流行性耳下腺炎	麻疹	風疹	その他感染症
登録小学校	0	0	0	0	1

Step 2.

青字の「登録小学校」をクリックします。「その他感染症」を表示して、具体的な疾患名を確認してください。(下図の場合は「帯状疱疹」)



Step 3.

- ・「出席停止疾患登録」で全ての具体的な疾患名を確認できた場合
⇒(9)へ進む
- ・「出席停止疾患登録」に具体的な疾患名が入力されていない学校があった場合
⇒その学校に正しく入力できていないことを連絡して下さい。スタートアップ研修に参加した学校には、資料の確認をお願いします。参加していない学校には、個別に説明して下さい。
(9)へ進む

(9)「欠席・出席停止者総数」が入っていない学校があるかどうか、確認しましょう

【確認の方法】「参照」で、その日の症状及び疾患名に人数が登録・入力されているにもかかわらず、「欠席・出席停止者総数」が0人になっている学校を確認します。

Step 1.

施設名: デモ教育委員会

●参照:表示施設範囲設定(選択した施設区分にて参照権限のある施設が表示できます)

保育園 幼稚園 小学校 中学校 高等学校 小中

中高一貫 特別支援学校 高等専門学校 専門・専修学校 [表示施設を更新](#)

<< 前日 ※日付変更を行った場合はこのボタンを押して下さい! 2014年12月15日 再表示

※データ検索日を入力して【再表示】ボタンを押すと、該当日のデータが表示されます。
※欠席者入力画面で入力されたインフルエンザ様症状の数がインフルエンザ様症状に
ただし、学級・学年・学校閉鎖中のクラス・学年におけるインフルエンザ様症状の人数
画面では0と表示され、下記の画面と異なる場合があります。

施設名	欠席・出席停止者総数(人)	欠席者の症状(人)							出席停止(人)					
		発熱	頭痛	急性呼吸器症候群	下痢・嘔吐	発疹	インフルエンザ様症状	その他	インフルエンザ	感染症胃腸炎	溶連菌感染症	おたふくかぜ	水ぼうそう	マイコプラズマ感染症
研修小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
登録小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

Step 2.

- ・その日の症状及び疾患名に人数が登録・入力されている全ての学校で「欠席・出席停止者総数」が正しく入力されていた場合
⇒終了
- ・その日の症状及び疾患名に人数が登録・入力されているにもかかわらず、「欠席・出席停止者総数」が0人になっている学校(例:左図「登録小学校」)があった場合
⇒その学校へ連絡して下さい。
終了

よくある質問

- 1.病欠を対象とします。
- 2.欠席者0人の場合でも、一括簡易入力で登録しましょう。
- 3.「かぜ」風邪の場合は急性呼吸器症状で登録しましょう。
- 4.入力したかどうかを確認したい場合は「参照」をみましょう。
- 5.症状が2つ以上ある場合(下痢と嘔吐等)の入力は複数回答です。
- 6.総計については自動で数字がはいりません。症状は複数回答のため総計は手入力でいれましょう。
- 7.体調不良、不定愁訴(だるい)の場合は、可能な限り聞き取りましょう(おなかが痛くて体調不良など)。その他に入れる場合はコメントに詳細を入れてください。その際はクラス名を入れましょう。
- 8.症状でその他に入る場合は、眼の痛み、耳の痛み、けいれん等です。その他に入れる場合はコメントに詳細を入れましょう。
- 9.後から連絡があった場合は、修正しましょう。
- 10.様子見による欠席の場合は、前日と同じ症状で入れましょう。
- 11.職員についても「クラス定義」設定しましょう。
- 12.転入、転出の場合は、その都度「クラス定義」で修正しましょう。
- 13.パスワードは定期的に変更しましょう。
- 14.行政からの「お知らせ」は読みましょう。掲載期限は限られています。
- 15.パソコンがかわった場合もURL, ID, パスワードは変更ありません。

デモ版について

■学校等欠席者・感染症情報システムのデモ版の活用について

○学校保健会ポータルサイトにデモ版が公開されています。誰でもログインしてシステム利用を体験することができます。

デモ版URL <https://school.953862.net/demo/demo/>

	学校	保育園	こども園	教育委員会	保育担当課	保健所
ログインID	yamada	11223	10001	16001	21001	17002
パスワード	yamada	11223	10001	test	09876	1234

お問い合わせ

■ 学校等施設側でパソコンが変わってURLが分からなくなった場合やID,パスワードがわからなくなった場合等の対応をお願いします。

- (参考)
- 幼稚園・小学校・中学校（公立）：市町村教育委員会
 - 県立学校：県保健体育課
 - 保育所, 認定こども園, 私立幼稚園：市町村の保育課
 - 私立学校（私立幼稚園を除く）：総務部総務課私学振興室

■ 行政機関のID・パスワードについては、日本学校保健会に問い合わせることとなりますので、引き継ぎをきちんと行うようにしてください。

それ以外の操作内容でご不明なことがある場合、入力に迷うような事例がある場合などは、下記にご連絡ください。

- 日本学校保健会ポータルサイト
学校等欠席者・感染症情報システムについて
https://www.gakkohoken.jp/system_info